

2020年6月19日～18日

河井夫婦逮捕

河井前法相夫妻逮捕 案里議員当選の参院選で買収容疑―地元
県議らに現金・検察当局

時事通信 2020年06月18日19時40分



前法相河井克行容疑者と妻案里容疑者夫妻を乗せ

たとみられる2台の車両。東京拘置所に入った＝18日午後、東
京都葛飾区

昨夏の参院選で地元県議らに現金を渡し、票の取りまとめを依
頼したなどとして、東京地検特捜部は18日、公選法違反(買収)
容疑で、自民党を離党した衆院議員で前法相の河井克行容疑者
(57)＝広島3区＝と妻で参院議員の案里容疑者(46)＝広
島選挙区＝を逮捕し、衆院第2議員会館と参院議員会館内の2人
の事務所などを家宅捜索した。

ウグイス嬢と呼ばれる車上運動員に対する違法報酬疑惑に端
を発した一連の問題は、法務行政トップを務めた現職国会議員の
逮捕に発展した。



河井案里 参院議員

検察当局は2人の認否を明らかにしていないが、河井容疑者と
接見した弁護人によると、同容疑者は「不正な行為は一切してい
ない」と主張しているという。案里容疑者もこれまでの任意の事
情聴取に買収を否定しており、容疑を否認しているとみられる。

発表などによると、河井容疑者の逮捕容疑は、案里容疑者が初
当選した2019年7月投開票の参院選をめぐり、同3月下旬か
ら8月上旬、県議や市議、地元首长ら計94人に案里容疑者への
投票や票の取りまとめを依頼。報酬として計121回にわたり、
総額約2570万円を提供した疑い。案里容疑者は、このうち5
人に対する計170万円について、河井容疑者と共謀した疑い。



河井克行 前法相

検察当局は広島地検に政界捜査の経験が豊富な東京地検特捜
部から応援を派遣し、今年3月中旬、県議や市議らを一斉に聴取。
県議らの大半は、案里容疑者が自民党の公認を得た昨年3月以降、
河井容疑者から現金入りの封筒を受け取ったなどと説明した。

名目は同4月投開票の統一地方選の「陣中見舞い」や「当選祝
い」などだったが、検察当局は、河井容疑者のスマートフォンの
全地球測位システム(GPS)情報も利用し、同容疑者と県議ら
が面会した場所や日時を特定。県議らの供述と、同容疑者の関係

先から押収した「買収リスト」の記載を突き合わせるなどした結
果、買収の意図を認定できると判断したとみられる。

河井克行・案里夫妻を逮捕…94人に計2570万円提供か
読売新聞 2020/06/18 22:14



東京拘置所に入る容疑者を乗せたとみら

れる車両(18日午後、東京都葛飾区)＝関口寛人撮影

河井案里・参院議員(46)(広島選挙区、自民党を離党)が
初当選した昨年7月の参院選を巡り、票の取りまとめなどを依頼
する趣旨で地元議員ら94人に計約2570万円を提供したと
して、東京地検特捜部は18日、夫で衆院議員の河井克行・前法
相(57)(広島3区、同)と案里容疑者を公職選挙法違反(買
収)容疑で逮捕し、東京都内にある両容疑者の議員宿舍や国会事
務所を捜索した。法相経験者の逮捕は戦後初めてとみられる。

発表によると、克行容疑者は、案里容疑者が参院選広島選挙区
(改選定数2)で2人目の自民党公認候補に決まった直後の昨年
3月下旬頃から参院選直後の同年8月上旬頃、票の取りまとめな
どを依頼する趣旨で、91人に計約2400万円を提供した疑い。

案里容疑者は克行容疑者と共謀し、同年3月下旬頃～6月中旬
頃、5人に計170万円を提供した疑い。夫妻による資金提供先
のうち、2人は同一人物のため、計94人となる。

特捜部は夫妻の認否を明らかにしていないが、克行容疑者の弁
護人によると、克行容疑者は「不正な行為はしていない」と容疑
を否認しているという。

広島地検は今年1月以降、夫妻の関係先を捜索し、広島県議や
広島市議、陣営関係者らの氏名や金額が記載された複数のリスト
を押収。検察当局は特捜部の検事らを投入し、リストの精査や裏
付けを進めてきた。今後、捜査主体は特捜部となり、広島地検と
共同で解明を進める。

克行容疑者は広島県議を経て1996年に衆院議員に初当選
し、当選7回。首相補佐官や自民党総裁外交特別補佐を歴任し、
昨年9月に法相で初入閣したが、昨年参院選を巡る車上運動員へ
の違法報酬疑惑が浮上した同10月に法相を辞任した。案里容疑
者は2001年に克行容疑者と結婚し、03年の同県議選で初当
選。県議から転身を図り、昨年7月の参院選に出馬した。

河井前法相夫妻を買収容疑で逮捕 昨夏参院選、総額2570万円
2020/6/18 22:10 (JST)共同通信社



河井克行前法相、河井案里参院議員

昨年7月の参院選広島選挙区を巡り、地元県議らに票の取り
まとめなどを依頼し現金を配ったとして、東京地検特捜部は18
日、公選法違反(買収)の疑いで前法相の衆院議員河井克行容疑
者(57)＝広島3区＝と妻の参院議員案里容疑者(46)を逮捕し
た。2人の買収容疑は総額約2570万円。渡した額が、最大で1人
当たり100万円超だったことも関係者への取材で分かった。

現職国会議員夫婦の逮捕は初めてとみられる。広島地検が摘発した車上運動員への違法報酬事件は、東京地検が捜査に加わり、法務行政トップ経験者による巨額の買収事件に発展した。政権への打撃は必至だ。



広島市内で配られた、河井前法相夫妻逮捕

を報じる号外＝18 日午後 4 時 52 分



カーテンが引かれ、東京拘置所に向かう河

井案里容疑者を乗せた車両＝18 日午後 5 時 15 分、東京・小菅

河井克行・案里議員を逮捕 19 年参院選で 2570 万円買収容疑 検察当局

毎日新聞 2020 年 6 月 18 日 14 時 58 分(最終更新 6 月 18 日 18 時 37 分)



河井克行容疑者（左）と妻の案里容疑者

2019 年参院選を巡る選挙違反事件で、検察当局は 18 日、参院選で初当選した河井案里容疑者（46）＝自民を離党、広島選挙区＝と、夫で前法相の克行容疑者（57）＝同、衆院広島 3 区＝を公職選挙法違反（買収）の疑いで逮捕した。逮捕容疑の買収総額は約 2570 万円に上った。

2 人はこれまでの任意聴取に買収行為を否認していたといい、逮捕後も同様の説明をしているとみられる。現職国会議員が夫妻そろって逮捕されるのは極めて異例で、買収容疑での逮捕は 17 年ぶり。

逮捕容疑は、2 人は共謀して案里容疑者を当選させる目的で 19 年 3～6 月、5 人に案里容疑者への投票や票のとりまとめなどの選挙運動を依頼し、報酬として 5 回で計 170 万円を供与したとしている。さらに克行容疑者は 19 年 3～8 月、91 人に報酬として 116 回で計約 2400 万円を供与したとしている。

河井前法相夫妻を逮捕 地元議員ら買収容疑 東京地検

日経新聞 2020/6/18 14:51 (2020/6/18 18:20 更新)



参院本会議を終え退出する河井案里議員（写真

左）と衆院本会議に出席した河井克行前法相（同右）＝17 日 2019 年 7 月の参院選で、広島の地元議員らに計約 2570 万円を配って買収したとして、東京地検特捜部は 18 日、前法相の河井克行容疑者（57）と妻で参院議員の案里容疑者（46）を公職選挙法違反（買収）容疑で逮捕した。現職国会議員夫妻の逮捕は初めてとみられる。

特捜部は同日、東京都内にある両容疑者の議員会館事務所などを自宅捜索した。

克行前法相の逮捕容疑は 19 年 3～8 月、票の取りまとめなどを依頼する報酬として地元議員ら 94 人に計約 2570 万円を提供した疑い。案里議員は、このうち計 170 万円分の提供について克行前法相と共謀した疑い。

関係者によると、夫妻はこれまでの任意の事情聴取に対し、買収の意図や違法性の認識を否定している。夫妻は自民党に離党届を提出し、17 日に受理された。

公選法の買収罪で罰金刑を含む有罪判決が確定した場合は一定期間、被選挙権が停止され、国会法の規定に基づき失職する。克行前法相は広島県議を経て 1996 年衆院選で初当選し、7 期目。19 年 9 月に法相として初入閣を果たしたが、案里議員陣営による車上運動員の買収疑惑が発覚したことを受け、同 10 月に法相を辞任した。

案里議員は 03 年の広島県議選で初当選。4 期務めた後、19 年 7 月の参院選に出馬、初当選した。

案里議員の公設秘書は 16 日、車上運動員に違法報酬を支払ったとして執行猶予付きの有罪判決を言い渡された。連座制の適用対象で、案里議員は失職する可能性が高まっている。

河井夫妻を逮捕 昨年参院選で買収の疑い 東京地検特捜部 安倍政権にダメージ

東京新聞 2020 年 6 月 18 日 14 時 48 分

河井案里参院議員（46）＝広島選挙区＝が初当選した昨年七月の参院選を巡る公選法違反事件で、東京地検特捜部は十八日午後、案里氏と夫の克行前法相（57）＝衆院広島 3 区＝を同法違反（買収）の疑いで逮捕した。特捜部は夫妻が票の取りまとめを依頼する趣旨で地元議員ら約百人に計約二千五百万円を配ったとみている。

夫妻は検察当局の任意の事情聴取に、買収を否定している。一方、県内の複数の県議や首長らは本紙の取材に、参院選前に克行容疑者から現金を渡されたと言明した。

克行容疑者が逮捕されたことで、参院選後に法相に任命した安倍政権への大きなダメージになるのは必至だ。参院選で自民党が案里容疑者側に一億五千万円の党資金を支出したことの是非も問われる。二人は通常国会が閉会した十七日に自民党を離党した。

関係者によると、案里容疑者が自民党の公認候補となった昨年三月から参院選までの間、夫妻は広島県内の地方議員や首長、後援会関係者らに一人当たり主に五万～五十万円を配った疑いが持たれている。大半は克行容疑者が手渡しし、案里容疑者も一部議員に届けたという。

広島地検は、参院選で案里容疑者の陣営が車上運動員に違法報酬を支払ったとする公選法違反事件の捜査の過程で、夫妻が現金を配っていたことをうかがわせるリストを押収。特捜部の検事も応援に入り、地元議員らから事情聴取を重ねるなどしてきた。今月に入って議員らを改めて一斉聴取し、供述内容の最終確認をしている。

昨年の参院選では、自民党は広島選挙区で現職の溝手鎮止氏と、県議だった案里容疑者を公認した。党本部は案里容疑者側

に昨年四～六月、溝手氏側に出した資金の十倍となる一億五千万円を提供。溝手氏は落選した。

克行容疑者は広島県出身。県議を経て一九九六年の衆院選で初当選し、現在七期目。法務副大臣や首相補佐官などを歴任し、昨年九月に法相に任命されたが、案里容疑者陣営の公選法違反疑惑が発覚し、翌月辞任した。

河井前法相・案里議員を逮捕 参院選での買収の疑い 東京地検

NHK6月18日 19時01分



河井案里参議院議員の陣営による選挙違反事件で、東京地検特捜部は、夫の河井克行前法務大臣と案里議員が票の取りまとめを依頼した報酬として、地元議員らに現金を配ったとして、公職選挙法違反の買収の疑いで夫妻を逮捕しました。保守分裂の激しい選挙戦のさなかに地元議員ら100人近くにおよそ2570万円を配った疑いがあり、一連の事件は法務行政のトップだった前の法務大臣の夫妻が逮捕される前例のない買収事件に発展しました。

逮捕されたのは、いずれも自民党を離党した前の法務大臣の河井克行容疑者(57)と、妻で参議院議員の河井案里容疑者(46)で、東京地検特捜部などは午後4時半すぎから河井夫妻の議員会館の事務所や議員宿舎を捜索しています。

特捜部などの調べによりますと、河井前大臣は去年7月の参議院選挙をめくり、妻の案里議員が立候補を表明した去年3月下旬から8月上旬にかけて、票の取りまとめを依頼した報酬として、地元議員や後援会幹部ら91人に合わせておよそ2400万円を配ったとして公職選挙法違反の買収の疑いが持たれています。また、案里議員も河井前大臣と共謀し、5人に対して170万円を配った疑いが持たれています。

案里議員は去年3月、参議院広島選挙区で自民党本部の支援を受けて党の2人目の候補として擁立され、地元の県連組織が推す当時の現職と保守分裂の激しい選挙戦の末に初当選しました。一方、法務副大臣や総理大臣補佐官を歴任した河井前大臣は参議院選挙の後、法務大臣に就任しましたが、去年10月に選挙違反の疑いが週刊誌に報じられ辞任しました。

検察当局は法務行政のトップだった前法務大臣の夫妻による、地元政界を巻き込んだ前例のない買収事件の全容解明を進めることにしています。

河井夫妻は17日、自民党を離党しましたが、関係者によりますと、夫妻は違法な行為はしていないなどとして、議員辞職はしない意向を示しているということです。

河井前大臣「不正な行為はしていません」

逮捕された河井克行前法務大臣に18日夜、東京拘置所で接見した弁護士は記者団に対し、河井前大臣が「不正な行為はしていません」と主張していることを明らかにしました。そのうえで「金銭の授受はあったのか」など記者団からの質問には答えませんでした。

自民党本部 地元県連の反発振り切り擁立



定員2の参議院広島選挙区では、平成16年の参議院選挙以降、自民党と旧民主党系で議席を分け合ってきましたが、去年7月の選挙では自民党が、高い支持率などを背景に、当時の現職だった溝手顕正氏に加えて、2人目の候補として新人の河井案里議員を擁立しました。

自民党の広島県連は、2人目の擁立は組織が割れて、将来に禍根を残しかねないとして、反対しましたが、党本部は、これを振り切る形で擁立を決定しました。

これによって地元の県連からは強い反発があがり、溝手氏を応援する地元の県連と案里議員を推す党本部に分かれ、事実上、保守分裂の激しい選挙戦になりました。

その結果、トップで当選した野党系の候補に次いで、案里議員が2議席目で初当選し、溝手氏は落選しました。

元特捜部検事「買収の原資は徹底的に捜査を」

元東京地検特捜部検事の高井康行弁護士は、一連の現金提供が案里議員の票の取りまとめを依頼する趣旨だったかどうかを立証できるかが、今後の捜査の焦点になると指摘します。

この中で高井弁護士は「議員に現金を渡した名目が統一地方選挙の『陣中見舞い』や『当選祝い』でも実質的に、『妻の選挙をよろしく』という趣旨であれば買収は成立する。例えば今まで『陣中見舞い』や『当選祝い』を渡したことがない相手に今回初めて現金を渡したのであれば、選挙の協力依頼だったと合理的に推認できる。こうした細かい間接事実を積み重ねて立証することが必要だ」と指摘しました。

また、河井夫妻の自宅から押収された現金の配布先とみられる100人以上の名前と金額が記載されたリストについては「例えば100人のうち95人が現金の授受や趣旨を認めていけば残りの5人がいくら否認しても『選挙をよろしく』という趣旨で渡された」と推定できる。極めて有力な物証だ」と指摘しました。

そのうえで「これまでの捜査で現金の授受を認めている人たちも、裁判で否認にすれば『現金の原資は何か』ということは当然、問題になる。自民党本部から陣営側に振り込まれた1億5000万円が買収資金の原資なのか、ほかから出てきた金なのかという点は捜査の焦点の1つで、原資の捜査は徹底的に行わなければならない」と述べました。

公選法に詳しい専門家「一方の候補者に10倍の資金、経緯解明を」

公職選挙法に詳しい日本大学法学部の岩井奉信教授は、「2000万円を超える額が動いたというのは、これまでの買収事件と比べると非常に規模が大きく、選挙の公正性の観点から見て許しがたいことだ」と述べました。

そのうえで、「去年の選挙では1億5000万円という自民党の中でも極めて異例と言われるような資金が河井陣営に提供されているが、党本部が1つの選挙区に立てた複数の候補者のうち、一方に10倍の資金を提供して肩入れするといったことは過去に類を見ない。政権政党として当然政治的・道義的責任があり、資金が提供されたプロセスを明らかにする必要がある」と指摘しました。

そして、「河井前法務大臣は政権中枢に非常に近いと言われており、今回の事件は安倍政権にとって大きな打撃とならざるをえないだろう。なぜこういった問題を抱えた人物を法務大臣という最

も法を順守しなければならない役職に任命したのか。単なる任命責任というだけではない責任が問われることになると思う」と話しました。

疑惑浮上から逮捕までの経緯は



およそ 8 か月前まで法務行政のトップだった前法務大臣の夫妻による前例のない選挙違反事件。一連の経緯をまとめました。河井案里参議院議員の陣営の選挙違反疑惑が最初に浮上したのは去年 10 月。去年 7 月の参議院選挙でいわゆるウグイス嬢に法律の規定を上回る報酬を支払っていた疑惑などが週刊誌で報じられ、選挙後の内閣改造で、法務大臣に就任したばかりだった夫の河井克行前大臣は就任からわずか 50 日後に辞任しました。事件が動いたのはことし 1 月 15 日。広島地方検察庁はウグイス嬢に違法な報酬を支払った公職選挙法違反の疑いで広島市内にある河井夫妻の事務所や自宅マンションの捜索に乗り出しました。

河井夫妻はこの日の夜、それぞれ取材に応じましたが、捜査中であることを理由に疑惑には答えず、離党や議員辞職は否定しました。

およそ 1 か半月後の 3 月 3 日、広島地検はウグイス嬢に違法な報酬を支払ったとして夫妻の公設秘書らを公職選挙法違反の運動員買収の疑いで逮捕。

河井夫妻の議員会館の事務所も捜索し、その後、夫妻から任意で事情聴取しました。

検察当局は一連の捜査の過程で現金の配布先とみられる広島県内の市長や町長、地元議員、それに後援会幹部など合わせて 100 人以上の名前や金額が記載された複数のリストを押収。

河井夫妻が保守分裂の激しい選挙戦のさなかに票の取りまどめを依頼する目的で、幅広い関係者に現金を配っていた大規模な現金買収の疑いが浮上しました。

検察当局は東京地検特捜部などの検事を広島に派遣して捜査態勢を拡充。ウグイス嬢に対する運動員買収の罪で夫妻の公設秘書 2 人を起訴したあとの 3 月下旬からはリストに記載された地元議員などの一斉聴取に乗り出します。

その結果、現金が配られた疑いがある地元議員ら 100 人近くの大半が河井夫妻から現金を受け取ったことを認めました。

このうち、安芸太田町の小坂真治町長は報道陣の取材に河井前大臣から現金 20 万円を受け取ったことを認め、4 月 9 日、道義的責任を取るとして辞任。

小坂前町長は、河井前大臣から「保守系の票を分けることができれば、自民党の 2 人が当選できる」などと話をされ、帰り際に現金が入った白い封筒を渡されたと説明しました。

検察は地元政界を巻き込んだ大規模な買収が行われた疑いがあるとみて、その後も複数の県議会議員や市議会議員の自宅や事務所などを次々に捜索。

4 月 28 日には、広島県議会の自民党系の 3 つの会派の控え室を捜索し、広島県の湯崎知事は記者団に対して「議会という神聖な場に強制捜査が入る深刻で重大な事態だ。関係者には必要な説明

責任を果たしてもらいたい」と述べました。

NHKの取材に対しても、少なくとも 10 人を超える地方議員や後援会幹部らが去年 3 月以降、河井前大臣や案里議員から「陣中見舞い」や「当選祝い」などの名目で数万円から数十万円の現金を受け取ったと証言。

そのうち複数は違法性の認識を認めましたが、「後日、返金した」などと説明する人もいました。

検察当局は、大型連休の後半に改めて河井夫妻を任意で事情聴取しました。

そして、検察当局は一連の捜査の結果、河井前大臣が票の取りまどめを依頼する目的で、地元議員や後援会幹部ら 100 人近くに現金およそ 2400 万円を配り、案里議員自身も現金百数十万円を配っていた疑いがあると判断。

新型コロナウイルスの感染拡大や定年が延長された東京高等検察庁の黒川検事長が賭けマージャンで辞職した問題なども踏まえ、国会の閉会を待って河井夫妻の逮捕に踏み切ったとみられます。

河井前大臣と案里議員は 17 日、これ以上党に迷惑をかけたくないなどとして自民党に離党届を提出し、受理されました。

関係者によりますと、河井夫妻は、違法な行為はしていないなどとして、議員辞職はしない意向を示しているということです。

夫婦二人三脚で政治活動



河井克行前法務大臣と、妻の案里参議院議員は、夫婦そろって政治家として、長く同じ事務所に拠点を構え、二人三脚で活動を続けてきました。

克行氏は、衆議院広島 3 区選出の当選 7 回。安倍総理大臣や菅官房長官に近いとされ、総理大臣補佐官や、自民党の総裁外交特別補佐などを歴任してきました。

妻の案里議員は、この間、同じ地域を地盤とする県議会議員を務めながら、夫の国政活動をサポートしてきました。

去年 7 月の参議院選挙で、案里議員は、定員 2 人の広島選挙区に、自民党の 2 人目の候補として擁立されて、みずからも国政進出を目指すことになり、夫の克行氏が選挙運動を支えました。

案里議員は、党本部をあげた支援を受けて、地元の県連組織が推した当時の現職だった溝手顕正氏を、保守分裂さながらの激しい選挙戦の末に破って初当選。

参議院選挙を終えて、去年 9 月。克行氏は、法務大臣として初入閣を果たした一方、案里氏は、自民党の二階幹事長が率いる派閥、二階派に入会し、国政活動を本格化させました。

しかし、これからわずか 2 か月たらずの去年 10 月。案里氏の参議院選挙の際、陣営がウグイス嬢に違法な報酬を支払っていた疑惑が週刊誌で報じられました。

克行氏は、週刊誌の発売当日に法務大臣を辞任。その後、検察当局による捜査が始まり、河井夫婦 2 人がみずから地元の地方議員や後援会幹部などに、現金を渡していた買収の疑いも浮上しました。

夫婦ともに買収行為を否定していますが、いずれも一連の疑惑に

ついて詳しい事実関係の説明責任を果たしていません。

前代未聞の河井克行・案里議員逮捕 現職国会議員夫婦、法相経験者… 買収容疑

毎日新聞 2020年6月18日 17時36分(最終更新 6月18日 22時28分)



議場を後にする河井克行前法相(左)と河井案里

参院議員＝国会内で2020年6月17日、いずれも玉城達郎撮影
現職国会議員の逮捕は、2019年12月のカジノを含む統合型リゾート(IR)事業への参入を巡る汚職事件に続いて2年連続となった。現職国会議員の夫婦がそろって逮捕された例は前代未聞とみられる。さらに、閣僚経験者の中でも、法務・検察を率いる法相経験者が逮捕されるのは初めてとみられ、今回の逮捕は異例づくめといえそうだ。

選挙で選ばれた国会議員は「国民の代表」であり、緻密な捜査が不可欠とされる。それでも検察は、田中角栄元首相を1976年に逮捕・起訴したロッキード事件など「政治の腐敗」を積極的に暴いてきた。90年代以降も、ゼネコン汚職や、旧ケーエスデー中小企業経営者福祉事業団(KSD)を巡る汚職などで現職議員を逮捕。KSD汚職では、閣僚経験のある村上正邦・元労相も逮捕した。

だが…

残り770文字(全文1109文字)

河井夫妻、公選法違反容疑で逮捕

JNN2020年6月19日0時53分

去年の参議院選挙をめぐり、河井克行前法務大臣と妻の河井案里議員が地元の議員らに現金を配り、買収した疑いで、東京地検特捜部に逮捕されました。河井前法務大臣は逮捕後に接見した弁護士に、「不正な行為はしていない」と話しているということです。

公職選挙法違反の買収の疑いで逮捕されたのは、衆院議員で前法務大臣の河井克行容疑者(57)と、妻で参院議員の案里容疑者(46)です。特捜部によりますと、2人は去年の参議院選挙で案里議員を当選させるために、去年3月から8月にかけて、地元議員らのべ96人に対して、報酬として総額およそ2570万円を渡した疑いが持たれています。

特捜部は逮捕後、河井前法務大臣と案里議員の議員会館にある事務所や、2人が住む議員宿舎にも家宅捜索に入りました。特捜部は2人の認否を明らかにしていませんが、東京拘置所で接見した河井前法務大臣の弁護士は取材に対し、「『不正な行為はしていない』と主張している」と話しました。しかし、金を渡したことを否定しているのかどうかについては答えませんでした。

特捜部は押収した資料の分析などを進め、大規模な買収事件の実態解明を進めることにしています。

河井前法相と案里議員を逮捕、検察幹部「民主主義を破壊」

JNN2020年6月18日17時16分

去年の参議院選挙で初当選した河井案里議員と、夫の克行前法務大臣が、票の取りまとめを依頼する目的で現金を配った疑いが強まったとして、東京地検特捜部は2人を公職選挙法違反の疑いで逮捕しました。東京地検前からの報告です。

2人の逮捕後、議員会館の事務所や2人が住む議員宿舎に対して東京地検が家宅捜索に入るなど、慌ただしい動きが続いています。

逮捕されたのは、衆院議員で前法務大臣の河井克行容疑者(57)と、妻で参院議員の河井案里容疑者(46)です。特捜部によりますと、2人は去年7月の参議院選挙で地元議員らに票の取りまとめを依頼するなどの趣旨で、あわせてのべ96人に対し、総額2570万円の現金を報酬として配った公職選挙法違反の疑いが持たれています。特捜部は2人の認否を明らかにしていませんが、関係者によりますと、2人は逮捕前の任意の事情聴取に対し、「買収目的ではなかった」などと説明していたということです。

前法務大臣を逮捕するにあたり、ある検察幹部はJNNの取材に対して、「公正であるべき選挙結果がお金の力でゆがめられてしまうことは民主主義を破壊する行為で、決して看過することはできない」「大臣経験者であろうとも取り締まるのは当然だ」と話していて、今後、前法務大臣をめぐる大規模な買収疑惑の解明が進むことになると見られます。

河井前法相・案里議員 逮捕、法務大臣経験者の逮捕は史上初

JNN2020年6月18日15時53分

去年の参議院選挙で初当選した河井案里議員と夫の克行前法務大臣が、票の取りまとめを依頼する目的で現金を配った疑いがあるとして、東京地検特捜部は河井夫妻を逮捕しました。東京地検前から報告です。

東京地検特捜部は河井夫妻を逮捕し、こちらの建物で担当副部長の記者発表が行われています。国会議員の夫婦が逮捕されるのも、法務大臣経験者が逮捕されるのも、憲政史上初めてという、検察の威信をかけた異例の事件となりました。

公職選挙法違反の買収の疑いで逮捕されたのは、衆院議員で前法務大臣の河井克行容疑者(57)と妻で参院議員の案里容疑者(46)です。特捜部によりますと、2人は去年7月の参議院選挙をめぐり、票のとりまとめを依頼するなどの目的で、あわせて96人に対して、およそ2570万円の現金を報酬として配った公職選挙法違反の疑いがもたれています。

検察当局は、河井前大臣のパソコンから現金の配布先を示したとみられる「リスト」を押収していて、このリストに記載されていた地元議員らなどから事情を聞いた結果、現金を配った疑いのあるおよそ100人のうち大半が、現金の受け取りを認めたということです。特捜部は今後、地元政界を巻き込んだ大規模な選挙違反事件の実態解明を進めます。

河井夫妻逮捕で政界反応、“官邸案件”に冷ややかな目

JNN2020年6月18日16時11分

河井夫妻の逮捕を受け、政界にも波紋が広がっています。政治部の後藤記者に聞きます。

安倍総理や菅官房長官に近いとみられている河井夫妻の逮捕

で、政権へのダメージは必至とみられています。

「逮捕されるような人をなぜ法務大臣にしたのか。平均1500万の10倍のお金を、つまり河井さんをえこひいきしたわけですからね。そうしたお金の使い道等について、党としてやっぱり説明する責任があると思います」（立憲民主党 安住淳 国対委員長）

野党側は予算委員会の開催で与党に求め、安倍総理らの責任を追及する方針です。一方、自党内も「議員辞職すべき」など突き放した反応が大勢です。こうした背景には、去年7月の参院選で一般の候補者の10倍とされる1億5000万円の選挙資金を受けていた河井陣営は、官邸から特別扱いはされた「官邸案件」という認識が広がっていることもあげられます。

Q. 政権のダメージについて具体的に教えてください

大きく2つあるといえます。1つは自民党からの選挙資金が本当に買収の原資にあたっていなかったのか、もう1つが安倍総理の責任です。二階幹事長は「広報紙の配布費用にあてたと報告を受けている」として、買収の費用ではないと強調しています。しかし、党内のベテラン議員は、「全ての家に3回配布したとしてもそこまで費用はかからない」と語り、党として説明が必要という認識を示しています。

また、安倍総理はこれまで閣僚などがスキャンダルなどで辞任した際は、「任命責任は自分にある」ことは認めてきましたが、その都度、具体的な責任の取り方は示しませんでした。去年10月まで閣僚、しかも検察司法行政を担う法務大臣だった議員が逮捕されたわけですから、これまで以上の責任が求められることは確実です。

2人の逮捕に関して、安倍総理が今後、自らの責任についてどう説明するのか、まさに問われています。

河井氏応援、政府・自民党の受け止めは

JNN2020年6月18日 11時38分

河井夫妻に対する地検の捜査が大詰めを迎えています。政界はどのようにこの状況を見ているのでしょうか。自民党前から報告です。

政府・自民党は今のところ、静観の構えをみせていますが、前の法務大臣夫妻が逮捕されるとなれば、政権や自民党へのダメージは避けられないとの見方が強まっています。

河井夫妻は17日、「一身上の都合」を理由に自民党を離党していますが、去年7月の参議院選挙では、安倍総理が案里議員の応援に駆け付けるなど、党をあげて全面的に支援してきました。一方で、国政選挙の際に党が候補者に配る一般的な選挙資金の10倍に当たる1億5000万円が河井陣営に振り込まれたことに党内では不公平だと不満の声が強く、河井夫妻を擁護する声は多くはありません。

二階幹事長は河井夫妻について、「党や政権に影響を及ぼすほどの大物議員ではない」と平静を装っていますが、自党内からは法務行政のトップだった河井前法務大臣夫妻が逮捕されるとなれば、「政権や自民党への影響は避けられず、安倍総理の任命責任も問われる」と懸念する声も上がっています。

河井夫妻を逮捕…「白い封筒に現金が」証言次々

ANN2020/06/18 23:30

17日に自民党を離党した前法務大臣の河井克行容疑者(57)と、妻の案里容疑者(46)が、公職選挙法違反の買収の疑いで逮捕されました。東京地検特捜部などの調べによりますと、去年の参議院選挙をめぐり、河井夫妻が、地元の県議や市議ら延べ96人に票の取りまとめなどを依頼し、その報酬として、総額2570万円を配った疑いが持たれています。

事件が動いたのは今年1月です。去年の参院選をめぐり、案里容疑者の陣営が、いわゆる“ウグイス嬢”に違法な報酬を支払っていた疑いが浮上し、河井夫妻の自宅と地元事務所が捜索を受けました。この2カ月後、案里容疑者の公設秘書、立道浩被告(54)や、克行容疑者の元政策秘書、高谷真介被告(44)らが逮捕されます。16日に立道被告に懲役1年6カ月、執行猶予5年の有罪判決が下されました。判決によりますと、立道被告らは“ウグイス嬢”14人に違法な報酬を渡していたといっています。そして、今回の事態に発展しました。河井容疑者2人は、これまでの任意の事情聴取に対し、買収行為を否定しているといっています。

一方、これまで、地元からは、克行容疑者本人から現金を受け取ったことを認める証言が相次いでいました。

当時の安芸太田町・小坂真治町長：「(去年)4月下旬か5月に克行容疑者が我が家にお訪ねになられて、白い封筒をテーブルに出されて、中を確認し、20万円が入っていたのを政治資金収支報告書に、私が一方的に県の選管に届けた」

地元の議員：「4月9日、出陣式が済んだ時、事務員がいて、それに河井さん(克行容疑者)がポケットに封筒を突っ込んで帰った。4月だったから案里の応援もあっただろう」
延べ96人に配られた2570万円の原資は、どこから出たのでしょうか。去年の参院選では、自民党本部から一般の10倍にあたる1億5000万円が河井陣営に振り込まれていました。

安倍総理：「二階幹事長より党本部では、公認会計士が厳格な基準に照らして、事後的に各支部の支出をチェックしているところであり、巷間(こうかん)言われているような使途に使うことはできないことは、当然であるという説明を行われた」
安倍総理は、河井陣営に投じた巨額の資金が買収の原資になったのではないかとこの疑惑を否定しましたが、党本部でどのようなチェックがなされたのか、具体的な中身は示されていません。高い倫理観が求められるはずの前法務大臣と、その妻のダブル逮捕という前例のない事態に、批判が相次いでいます。

共産党・小池書記局長：「破格の選挙資金、巨額の選挙資金を提供し買収資金に使われた疑いなわけですから真相の解明が、どうしても必要だと考える」

自民党・石破元幹事長：「自民党に対して、政権に対して、非常に大きな影響がある。影響は決して小さくないことを我々は自覚すべきだ」

自民党・中谷元防衛大臣：「国政上、大きな仕事をしていかなければいけないので、しっかりと人選してもらいたい」

立憲民主党・枝野代表：「逮捕されるような方を法務大臣に任命した総理の見識が問われる。一言で言う『焼きが回った』としか言いようがない」

安倍総理：「法務大臣に任命したものとして、責任を痛感している。選挙は民主主義の基本。そこに疑いの目が注がれることは

あつてはならない。自民党総裁として、自民党において、より一層、襟を正し、国民への説明責任を果たしていかなければならない」

野党は予算委員会での集中審議を要求していますが、与党側は難色を示しています。総理の求心力が低下するなか、党内からは「傷が深くなる前に解散総選挙をうってほしい」という声が上がっています。

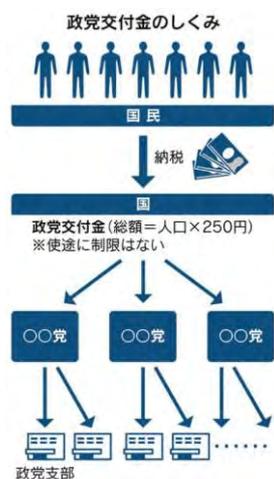
安倍総理：「17日に通常国会が終わったばかりで、感染症対策に全力尽くすなかで、頭の片隅にもないが、様々な課題に真正面から取り組むなかで、国民の信を問うべき時が来れば、躊躇（ちゆうちよ）なく、解散を断行する考えに変わりはない」

◆自民党を取材している山本志門記者の報告です。

党内には、これだけ長い間、河井夫妻の報道が続いていたから、今回の逮捕で、内閣支持率が大きく下がることはない、影響は限定的という見方も少なくない。しかし、政権が強ければそうだったかもしれないが、一強といわれた安倍政権の基盤が大きく揺らぎ始めているなか、安倍総理と距離を置く議員をはじめとした勢力が巻き返しをしていくうえで、格好のスキが生まれているのは間違いない。与党内での批判的な声が強くなり、それが横に広がっていけば、安倍総理も党内をグリップすることが難しくなり、政権運営が立ちいかなくなるまで追い込まれる可能性も出てくる。安倍総理の任期は来年9月。党内からは「辞め時を考え始めているのではないか」という声もあります。“ポスト安倍”レースも水面下で活発化し始めている。安倍総理は、早ければ今年秋にも解散総選挙に踏み切るのではないかとという見方も飛び交うなかで、「選挙に勝てる顔は誰がふさわしいのか」という思惑もからみながら、今後の政局が動いていくことになりそうです。

安倍1強のゆがみ映す 河井夫妻を逮捕

2020/6/18 20:40 (2020/6/19 5:26 更新) 日本経済新聞 電子版
「政治とカネ」で閣僚経験者が18年ぶりに逮捕された。自民党の河井克行前法相と妻の案里参院議員が2019年の参院選で地元議員らに現金を配った疑いで、政権への打撃お避けられない。安倍晋三首相ら政権中枢に近い議員の逮捕は長期政権のおごりや緩みと無縁でない。



自民党は19年7月の参院選で改選数2の広島選挙区で2人目の候補として、新人の案里容疑者を公認した。現職だった岸田派の溝手頭正元防災相への一本化を望んだ地元の反対を党本部が押

し切った。

党本部は2人への支援で格差をつけた。案里容疑者の陣営への運動資金は現職の10倍である1億5千万円を振り込んだ。政党交付金などが原資だ。公職選挙法など法律上の問題はないが巨額の支援が強引な選挙戦につながったとの見方がある。

克行容疑者は首相補佐官や自民党総裁外交特別補佐を務め、首相や菅義偉官房長官と近い関係にあるとされた。政権中枢が案里容疑者の陣営に肩入れしたとの見方が強く、選挙戦の当初から党内では不満や批判が潜在していた。

溝手陣営にいたスタッフは「とてもまねできる規模ではない派手な選挙戦だった。金銭、マンパワー、まるで兵糧攻めに遭っているような戦いだった」と振り返る。

野党は「違法行為の源泉となった金銭の流れなど説明責任を果たすよう追及していく」（国民民主党の玉木雄一郎代表）構えだ。河井夫妻の関係者によると、党本部からの資金の大部分は党勢拡大のための広報誌の配布に使われた。二階俊博幹事長は17日、広報誌を配布した経緯を説明し、党本部が振り込んだ1億5千万円が買収資金に使われていないとの認識を示した。

「政治とカネ」の問題は戦後まもなくから始まり、1970年代、80年代にロッキード事件、リクルート事件などがあり、90年代初頭の東京佐川急便事件で世論の不満は頂点に達した。なぜ政治に巨額のおカネが必要なのか。そこで出した答えが衆院への小選挙区制導入だった。

ひとつの選挙区の定員が3人から5人の時代に自民党には5つの派閥ができた。総裁選をにらんで勢力を保持・拡大するには、同じ選挙区で他派閥の候補を蹴落とすしかない。自民党の派閥の力を弱めるには、ひとつの選挙区で1人しか当選できない小選挙区制を導入し、党の権限を強めるしかないとの結論だった。

「政治とカネ」の問題で自民党の信頼は失墜し、93年には結党以来、初めて下野した。96年の初めての小選挙区制選挙以降は「不祥事を起こし、有権者の信用がなくなれば野党に転落する」との緊張感が与野党には生まれた。09年には非自民勢力を結集した民主党が政権交代を実現した。

国民の期待でできた民主党政権は3年あまりで終わり、自民党は安倍総裁のもとで政権に復帰した。「野党になりたくない」との心理が今度は「強すぎる官邸」を生み、7年以上にわたる超長期政権の弊害も様々なところに現れてきた。

非自民の細川護熙政権で首相秘書官を務めた成田憲彦駿河台大学名誉教授は「政治改革で資金の流れの透明性は高まった。政党の良識が働かず、安倍1強でゆがんだ自民党のチェック機能の問題だ」と断じる。「必要な政治改革は不断に検討されるべきだ」とも話す。

参院選挙区で、複数区で同じ党が候補を立て、議席を増やしたいと考えるのはおかしいことではない。今回の事件の舞台で地元の反対を押し切って2人目の新人を立てたことに「おごりと緩みがあった。かつての衆院中選挙区のような状況になった」との指摘がある。

いまは派閥の力が衰えた代わりに、党首をトップとする党執行部には公認権、人事権、政治資金で絶大な権限がある。

政党が自由に使える資金とはいえ、同じ党内候補でも問題が表面化するまで実態がわからない異様さは残る。安倍政権には有権者

の疑念を払拭する説明責任が改めて問われている。(坂口幸祐)

しんぶん赤旗 2020年6月19日(金)

河井前法相夫妻を逮捕 現金2500万円渡す 参院選で買収容疑

昨夏の参院議員選挙で地元議員や首長らに票の取りまとめを依頼し、現金計約2570万円を渡したなどとして、検察当局は18日、衆院議員で前法相の河井克行容疑者と妻で参院議員の案里容疑者＝夫妻とも自民党を離党＝を公職選挙法違反(買収)容疑で逮捕しました。いずれも現職国会議員で、しかも法務省のトップ経験者と妻が検察に選挙違反で逮捕される異例の事態となりました。

克行容疑者は安倍晋三首相に近く、案里容疑者が参院広島選挙区に自民党公認候補として立候補した背景には、党本部の強い後押しがあったとされます。党総裁でもある安倍首相の政治責任が問われます。

逮捕容疑は、案里容疑者が初当選した2019年7月の参院選をめぐる、両容疑者が共謀して同年3月下旬ごろから6月中旬ごろまでに、5人に票の取りまとめを依頼し、報酬として5回にわたり計170万円を提供した疑い。

また、克行容疑者は同3月下旬ごろから参院選後の8月上旬ごろまでの間に、91人に票の取りまとめを依頼し、報酬として116回にわたって計約2400万円を提供した疑い。

参院選前には党本部から両容疑者が代表を務める党支部に、異例の計1億5000万円の資金が振り込まれたことが明らかになっています。多額の買収資金と本部からの資金の関係など、疑惑の全体像の解明が求められます。

しんぶん赤旗 2020年6月19日(金)

河井前法相夫妻逮捕 議員辞職と国会での真相解明を 小池書記局長が会見



(写真) 記者会見する小池晃書記局長＝18日、

国会内

日本共産党の小池晃書記局長は18日、国会内で記者会見し、河井克行前法相と妻の案里参院議員が公職選挙法違反容疑で逮捕されたことについて、「かつてない規模の大買収が行われたという容疑であり、ただちに議員辞職すべきだ」と語りました。

小池氏は、克行・案里両氏の責任とともに、安倍晋三首相・自民党総裁の責任も極めて重大だと指摘。「首相としての責任としては、このような人物を法務大臣という重職にすえた任命責任。案里議員の昨年の参院選挙で1億5千万円という破格・巨額の選挙資金を提供し、それが買収資金に使われたという疑いであり、資金を提供した自民党総裁としての責任。内閣総理大臣と自民党総裁としての二重の重大な責任が問われる」と強調しました。

小池氏は、案里氏に対する1億5千万円という資金提供は、もう一人の自民党候補に対する1500万円と比べても異常な肩

入れだと指摘。さらに、安倍首相が案里氏の街頭演説会に駆けつけ、安倍首相の秘書が総出で支援したと報道されていることに触れ、「なぜ特定の候補者にこれだけの支援を行ったのか。真相の解明が必要だ。政府としても自民党としても国民に納得のいく説明をすべきだ」と述べました。

その上で「首相が出席する予算委員会の集中審議を直ちに開催し、国会で両氏の逮捕についての真相解明の場を設けることを、野党として結束して要求していきたい」と語りました。

ありがとうございます。2020年6月19日(金)

河井氏逮捕 予算委で真相解明を 野国連、首相の説明を要求



(写真) 野党国対委員長連

絡会＝18日、国会内

日本共産党と、立憲民主党や国民民主党などの共同会派は18日、前法相の河井克行衆院議員と河井案里参院議員が選挙買収の容疑で逮捕されたことを受け、国会内で国対委員長連絡会を開きました。

野党は「法相経験者の逮捕は戦後初であり、安倍晋三首相の任命責任は重大だ」として、政府から法務委員会の理事会に対する逮捕事由の説明と、予算委員会の集中審議を開いて安倍首相の責任追及と真相解明を果たすことを自民党に求めることで一致しました。

立憲民主党の安住淳国対委員長は、克行氏を法相に任命し、案里氏の選挙時に自民党本部が1・5億円もの資金を提供し特別扱いしたことなどを挙げ、「一番大きな責任は安倍首相にある。首相が直接、予算委の集中審議で説明するべきだ」と強調しました。

しんぶん赤旗 2020年6月19日(金)

河井氏逮捕 責任の取り方語らず 首相が国会閉会受け会見

安倍晋三首相は18日、通常国会の閉会を受け、首相官邸で記者会見し、公職選挙法違反(買収)の容疑で逮捕された衆院議員の河井克行前法相と妻の案里参院議員について「かつて法務大臣に任命した者としてその責任を痛感している。国民の皆さまに深くおわびを申し上げる」と述べました。

しかし、自身の具体的な責任の取り方については語らず、自民党が案里氏側に振り込んだ1億5000万円が買収に使われた疑いについての質問にも直接答えませんでした。

新型コロナウイルス感染症の検査体制については「抗原検査のさらなる活用も進め、国内の検査体制を一層強化していく」と語りました。

防衛省が配備計画を停止した地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」については、「地元の皆さまに説明していた前提が違っていた以上、このまま進めるわけにはいかない」と発言。イージス・アショアを含む今後の安全保障のありようについては「この夏、国家安全保障会議で徹底的に議論し、新しい方向性を打ち出す」としました。

他方、憲法審査会での改憲条文案をめぐる議論が「今国会においても全く進まなかった」として、コロナ危機の教訓を口実に「目の前の課題を先送りせず解決するのが政治家の責任だ」とし、改憲論議の推進について長々と自説を述べました。

政権、異例の肩入れが裏目に 河井事件の背後に「官邸VS 検察」

東京新聞 2020年6月19日 06時45分

参院議員の河井案里、夫で衆院議員の克行両容疑者が公選法違反の疑いで逮捕された事件は、安倍晋三首相にとって自民党に所属していた議員二人が同時に逮捕されただけの衝撃では済まない。首相官邸は昨年夏の参院選広島選挙区の二人目の党公認候補に案里議員を押し込み、全面支援したからだ。無風選挙は一転して激戦となった。参院選後、首相が克行議員を法相に抜擢（ぼつてき）したことも裏目に出た。政権中枢に厚遇された二人への捜査は、官邸対検察の暗闘の様相を呈した。（後藤孝好、妹尾聡太）

■演出

首相は十八日の記者会見で河井夫妻の逮捕に関し、自民党総裁として「わが党所属だった現職国会議員が逮捕されたことは大変遺憾だ。国民の厳しいまなざしを受け止め、全ての国会議員は改めて襟を正さなければいけない」と述べた。

まず襟を正すべきは首相だ。事件の背景となった厳しい選挙戦の演出に自ら関わっていたからだ。

広島選挙区は改選定数二。自民党と野党が議席を分け合うのが通例だった。自民党県連は長年、溝手頭正元党参院議員会長を支え、昨年二人目の擁立に反対した。官邸の意を受けた党本部はそれを押し切って案里議員を担ぎ出した。強引な二人目擁立は、首相批判を繰り返していた溝手氏への意趣返しだとの見方が党内では支配的だ。

■皮肉

選挙戦では首相が秘書を広島に派遣し、首相自身や菅義偉（すがよしひで）官房長官も応援演説に駆け付けた。案里議員は溝手氏を振り切って初当選。党本部は溝手氏の十倍、一億五千万円を河井夫妻陣営に投じていたことが後に判明した。首相ら党首脳にしか判断できない異例の支出で、買収工作に流用された疑いも否定できない。

陣営を取り仕切った夫の克行前法相はもともと首相や菅氏と親密で、首相補佐官や党総裁外交特別補佐を歴任していた。参院選後の内閣改造では法相として初入閣。首相は当時「法務行政のプロ」と持ち上げていたが、法相経験者が指揮監督していた検察に逮捕される前代未聞の事態となり、「任命した者として責任を痛感している」と陳謝せざるを得なくなった。

■攻防

捜査が官邸と検察の暗闘という色彩を帯びた原因は容疑者二人の政権中枢との関係だけではない。広島地検が一月、河井夫妻の地元事務所を家宅捜索し、捜査を本格化させた直後、政府が閣議決定した黒川弘務・前東京高検検事長の定年延長も影を落とした。

官邸に近いとされた黒川氏の定年延長は、前例のない脱法的な手法だった。政権がそこまでするのは、黒川氏を次期検事総長に起用し、検察の捜査をけん制する狙いがあるからだと言われた。

全国の検察トップによる二月の会合では、地方の検事正から「検察への信頼が疑われる」と懸念する声が公然と上がった。

首相や菅氏が国会で定年延長の正当性を繰り返し主張する一方で、検察は河井夫妻の外堀を埋めていった。永田町・霞が関では、その経過は官邸と検察の攻防と見られていた。結果は、黒川氏の辞職、続いて河井夫妻の逮捕に至った。「安倍一強」だからこそ可能だった異例の選挙戦術や人事は、回り回って政権を揺るがしつつある。

河井案里容疑者「出馬は官邸の意向」 昨年の参院選 克行容疑者が陣頭指揮

東京新聞 2020年6月19日 06時59分



昨年七月の参院選広島選挙区を巡る公選法違反事件で、東京地検特捜部は十八日、自民党に所属していた現職国会議員夫妻を逮捕した。夫で前法相の河井克行容疑者（57）と、妻で参院議員の案里容疑者（46）。普段の振る舞いに冷ややかな目向けられていた夫妻は、首相官邸の意向を背に選挙戦に臨んでいた。

（小野沢健太、山田雄之、山下葉月、池田悌一）

「官邸から『出なさい』って言われたの。『それじゃあ、出ましようか』ってお受けしたんです。落ちたら無職ね」

参院選への出馬が取り沙汰されていた昨年初め、案里議員は地元の会合で支援者から出馬について問われ、いつものように明るい表情でこう答えたという。

会合の出席者は取材に「官邸の意向があったから、克行さんは無理をしたんじゃないか…」とつぶやいた。

案里議員は昨年三月に出馬表明。改選二議席の広島選挙区では既に自民現職のベテラン溝手頭正氏の出馬が決まっており、党広島県連は「現有一議席の維持」を望んだが、党本部は案里議員も擁立した。

克行前法相は、二〇一二年の党総裁選で安倍晋三首相を支援し、一五年に首相補佐官に就任。自民のベテラン国会議員は「総裁選で熱心に動いた河井君に安倍さんは恩義を感じていたようで、重用していた」と話す。

参院選で克行前法相は陣頭指揮を執って奔走。陣営スタッフの一人は「克行さんは選対本部長であり事務局長。選挙事務所の自室にたびたびスタッフを呼び込み、細かく指示を出していた」と振り返る。別のスタッフは克行前法相がこう言っていたのを覚えている。「取れるだけ票を取って向こう（溝手氏）を落とす」

陣営は案里議員のポスターをあちこちに張り、有権者宅に何度もビラを配布。自動音声の電話も各戸に複数回かけた。地元の有力議員は「あんなに金遣いの荒い選挙は見たことがない」と話す。

選挙戦では安倍首相の秘書たちも、企業を回って案里議員の支援を求めた。ある自民県議は「溝手さんを支援してきた企業の中には、『安倍さんのお願ひなら』と態度を変えるところもあった」と話す。

結果、案里議員は当選し、溝手氏は落選。選挙後、党本部から河井陣営に提供された資金が、溝手陣営の十倍の一億五千万円だったことが判明した。

県連のある幹部は「溝手先生は安倍首相を公然と批判していた。首相は溝手先生が気に入らないから、側近の克行さんを使って落選させようとしたのではないか」といふかっている。

年	日	事件	
2018年	7月20日	自民党が参院選広島選挙区で溝手顕正氏を公認	
19年	3月13日	党が河井案里容疑者を追加で公認	
	16日	党広島県連が溝手氏の支援を決定	
	3月～8月	夫の克行容疑者と案里容疑者が地元議員らに現金配布	
	7月21日	参院選投票開票。案里容疑者が初当選	
	9月11日	克行容疑者が法相就任	
	10月30日	案里容疑者陣営の車上運動員への違法報酬疑惑を週刊誌が報道	
	31日	克行容疑者が法相辞任	
	20年	1月15日	広島地検が河井夫妻の地元事務所や自宅を家宅捜索
		3月3日	地検が車上運動員への違法報酬疑惑を巡り、夫妻の秘書ら3人を逮捕。夫妻の議員会館事務所を捜索
		24日	地検が公選法違反罪で夫妻の秘書2人を起訴。案里氏の公設秘書を連座制の適用対象と判断
6月16日		広島地裁が案里容疑者の公設秘書に懲役1年6月、執行猶予5年の有罪判決。連座制による失職の可能性が濃厚に	
17日		自民党が夫妻の離党届を受理	
18日		東京地検が夫妻を公選法違反容疑で逮捕	

安倍政権に大打撃 首相「責任を痛感」一求心力低下へ・河井夫妻逮捕

時事通信 2020年06月18日 19時32分



記者会見する安倍晋三首相＝18日午後、首相官邸

河井克行前法相＝自民離党＝と妻の案里参院議員＝同＝の公選法違反容疑（買収）での逮捕について、安倍晋三首相は18日の記者会見で、「かつて法相に任命した者としてその責任を痛感している。国民におわび申し上げる」と陳謝した。しかし、法務行政の元トップによる事件は衝撃で、野党の追及は必至。首相への打撃は大きく、政権運営への影響は不可避だ。

克行前法相は首相や菅義偉官房長官と近く、案里議員が当選した昨年7月の参院選では首相も菅氏も広島入りし、てこ入れた。首相は事件について「全ての国会議員が襟を正さなければならない」などと一般論を述べたが、詳細に関しては「個別の事件に関すること」と深入りを避けた。

17日閉幕した通常国会では、新型コロナウイルス対策をめぐる迷走や、前東京高検幹事長の賭けマージャン辞職などが相次ぎ、内閣支持率は低下。「安倍1強」体制は大きく揺らいだ。

「政治とカネ」の問題では、昨年12月にカジノを含む統合型

リゾート（IR）汚職事件で秋元司被告＝自民離党＝が逮捕された。今回の河井夫妻により安倍政権下で3人の現職国会議員が逮捕される異例の事態となった。

首相は新型コロナの「第2波」へ備えるとともに、傷んだ経済の回復を急ぎ、政権の立て直しを図る考え。だが、どちらも容易に結果が出る課題ではなく、さらなる求心力低下は避けられない。

「実弾」攻勢、激戦背景か 自民2人で票奪い合い―案里議員初当選の昨夏参院選

時事通信 2020年06月18日 20時32分

衆院議員の河井克行前法相（57）＝広島3区＝の妻、案里参院議員（46）が初当選した昨夏の参院選広島選挙区（2人区）は、自民党と野党が議席を分け合ってきた従来の選挙戦とは様相を異にし、案里議員は同じ自民の重鎮を押しつけて議員の座に就いた。激烈な争いが「実弾」攻勢につながった可能性もある。

2013年と16年参院選の広島選挙区で圧勝が続いた自民党は、昨夏、新人だった案里議員と現職の2人を擁立し、改選2議席の独占を狙った。

自民党が案里議員の公認を正式決定したのは、投票開票4カ月前の昨年3月。同党は6選を目指す元国家公安委員長の溝手顕正氏を公認済みで、案里議員の公認は、党県連幹部の反発を押し切った決定だった。

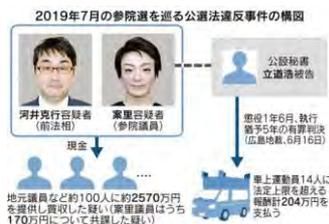
県議だったとはいえ、案里議員は県全域をカバーする支持基盤を持たない。2人の中では、組織力に勝る溝手氏が有利とみられたが、自民同士で票を奪い合う格好となり、結果は野党3党の推薦候補がトップ当選。案里議員が溝手氏に2万5000票余りの差をつけ、2番手に入った。

自民党が案里議員擁立にかじを切った背景には、安倍晋三首相と溝手氏の不仲があったともささやかれた。選挙資金をめぐる格差も如実で、案里議員と河井前法相の政党支部に党本部から「相場の10倍」と言われる計1億5000万円が送金されていたことには、党内からも疑問視する声が上がった。

検察当局はこうした資金提供にも着目。自民党本部の元幹部ら複数のOB職員から任意で事情聴取するなどして使途を捜査。河井前法相が中心となって「実弾」選挙を繰り広げた疑いもあるとみて調べを進めている。

現金の趣旨、立証の焦点に 河井前法相夫妻逮捕

日経新聞 2020/6/18 19:45



前法相の河井克行容疑者（57）と妻で参院議員の案里容疑者（46）が18日、公職選挙法違反容疑で逮捕された。2人は容疑を否認したとみられる。2019年7月の参院選を巡り、地元議員らを約2570万円を買収したという構図を東京地検特捜部は描いており、全面対決の様相だ。

現金の提供が票の取りまとめを依頼する趣旨だったかどうか、

今後の捜査の焦点になる。

克行前法相の逮捕容疑は、案里議員が立候補した参院選での集票を依頼するため、19年3月～8月に地元議員らに約2570万円を渡した疑い。案里議員は、このうち170万円について克行前法相と共謀した疑いがある。克行前法相が地元議員らの自宅を訪れ、封筒入りの現金を手渡すケースが多かったとされる。

河井陣営を巡る事件の経過	
2019年	
7月	参院選で河井案里容疑者が初当選
9月	夫の克行容疑者が法相に就任
10月	案里議員陣営が車上運動員に法定上限を超える報酬を支払った疑惑の報道を受け、克行容疑者が法相を辞任
2020年	
1月	広島地検が河井夫妻の関係先を家宅捜索
3月	地検が陣営関係者3人を選捕。案里議員の公設秘書、立道浩被告と克行前法相の元秘書、高谷真介被告を起訴
4月	元広島県議会議員らの関係先を家宅捜索
6月16日	広島地検が立道被告に有罪判決
17日	夫妻が自民党を離党。通常国会が閉会
18日	東京地検特捜部が夫妻を公選法違反(買収)容疑で逮捕

19年7月の参院選の広島選挙区で、自民党は改選2議席の独占を狙い、現職の溝手顕正氏に加えて案里議員を同年3月に公認した。自民党が2人を擁立したのは21年ぶりで、選挙戦は野党系無所属現職を含む三つどもえの激戦となった。

新人候補で地盤も弱い案里議員やその陣営を取り仕切った克行前法相が、短期間で票を取りまとめる狙いで地元政界などへ現金を配ったとの見方を特捜部は強めている。重視したのが河井夫妻の関係先から押収した、現金の提供先を示すとみられる複数のリストだった。

リストには地元議員らの名前が並び、金額や時期も記載されていた。リストを基にした事情聴取では多くの議員らが夫妻からの現金提供を認めた。「克行前法相本人から『月70万円』と直接依頼された」「案里議員を頼むと言われた」などと具体的な証言もあり、特捜部は買収行為を裏付けられると判断した。

一方、関係者によると河井夫妻は現金を提供した事実関係は争わず、趣旨について「選挙運動とは関係なく、党勢拡大のための『寄付』などにあたる」と訴える方針だ。夫妻が現金を提供した時期は19年4月の統一地方選と近く、「陣中見舞い」「当選祝い」という名目が多かった。

公選法の買収罪の成立には、現金の提供が選挙運動に絡む趣旨だったことの立証が必要とされる。今後の捜査でも、こうした現金の趣旨を巡る対立が予想される。

公選法に詳しい日本大の岩井奉信教授(政治学)は「現金の提供が日常の政治活動に対する寄付とみなされれば違法性が無いと判断される余地もある」と指摘。そのうえで「受け取った側が集票の目的と認識していたり、過去に同様の寄付が無かったりした場合は日常の政治活動への寄付には当たらず、選挙の買収行為と判断される可能性が高い」と話す。

●厳しい規制も違反は絶えず

河井克行前法相夫妻が逮捕された買収事件の捜査は、妻の案里議員の陣営による選挙違反事件が発端だった。

案里議員の公設秘書、立道浩被告(54)らは選挙カーで支持を訴える車上運動員(うぐいす嬢)に法定上限を超える報酬を支払ったとされ、広島地検が今年1月に関係先を家宅捜索。広島地裁は16日、立道被告に有罪判決を言い渡した。

選挙運動は自発的に無報酬で行うのが原則。選挙の公正さは民

主主義の根幹とされ、金品を提供し運動を依頼する買収行為は厳しく規制されるが、違反は後を絶たない。

公選法はうぐいす嬢のほか、手話通訳、宛名書きといった作業を担う事務員などへを除き、報酬の支払いを禁じている。

違反した場合は同法違反(買収)罪にあたり、3年以下の懲役か禁錮などが科される。候補者や選挙の陣営幹部が違反した場合は4年以下の懲役か禁錮などと刑が重くなる。買収した側だけでなく、買収に応じた側も罰則対象となる。

2012年の衆院選では、医療法人徳洲会グループによる巨額の買収事件が発覚。病院職員ら約600人に対して選挙運動の報酬として総額約1億5千万円が支払われ、徳田毅議員(当時)の親族やグループ幹部ら10人が有罪判決を受けた。

電子版の記事がすべて読める有料会員のお申し込みはこちら

突然の訪問…去り際に渡された封筒に30万円 広島県議が本紙に語った河井克行氏

東京新聞 2020年6月18日 14時50分

昨年七月の参院選を巡る公選法違反事件は十八日、国会議員夫妻の逮捕に発展した。河井案里参院議員(46)を初の国政に送り込もうと必死になっていた夫の克行前法相(57)。昨年四月に突然訪問を受けたという現職の広島県議は本紙の取材に「克行氏から現金入りの封筒を渡された」と証言し、「選挙を応援してくれという趣旨だと思った」と振り返った。(山下葉月)

県議が当選を果たした統一地方選から間もない昨年四月中旬。克行氏から事務所に「あしたあいさつに行くので会えませんか」と電話がかかってきた。克行氏とは二年前、災害現場で一度会っただけ。「なんで自分のところに来るんだろう」と疑問に思ったという。

翌朝、車で事務所前まで来た克行氏は、秘書を車に残し、一人で事務所に入ってきた。県議と面識があることは覚えていない様子で、自身の広報紙を取り出すと、自身の経歴を説明し始めたという。

県議選にも触れ「あんたは人気者なんやなあ」とこやかに言葉をかけてきた克行氏。五分ほど話すと席を立ち「これ、お祝いね」と、おもむろにセカンドバッグから白い封筒を取り出し、応接台に置いたという。

驚いた県議が「いやいや、受け取れませんよ」と返そうとすると、克行氏は「いいから、いいから」と言いながら、足早に事務所を立ち去った。封筒の中には現金三十万円が入っていたという。

当時、案里氏は参院選への出馬が決まっていた。克行氏は案里氏の話題には一切触れなかったというが、県議は「案里さんの選挙を応援してくれという趣旨の金だと思った」と振り返る。

三十万円は今も手元にある。東京地検特捜部の検事から取り調べを受けたこの県議は「ずっと返したかったけど、方法が分からなかった。自分が情けない」と悔いている。

Reuters 2020年6月18日 / 19:32

アングル: 強まる安倍首相の退陣観測、河井前法相逮捕がさらに逆風

Linda Sieg 竹本能文

[東京 18日 ロイター] - 自民党総裁の外交特別補佐も務

めた河井克行前法相の逮捕は、支持率が過去最低水準まで沈んだ安倍晋三首相にとって壊滅的な打撃となりかねない。来年9月に迎える党総裁任期前の退陣へと扉を開く可能性もある。



6月18日、自民党総裁の外交特別補佐も務めた河井克行前法相の逮捕は、支持率が過去最低水準まで沈んだ安倍晋三首相にとって壊滅的な打撃となりかねない。来年9月に迎える党総裁任期前の退陣へと扉を開く可能性もある。写真は新型コロナウイルスへの対応について会見する安倍首相。5月25日、東京の首相官邸で撮影（2020年 ロイター/Kim Kyung-Hoon）自民党内の一部では早期退陣がささやかれ、ライバルたちによる後継争いの動きが活発化している。日本の憲政史上で在任期間最長となった安倍首相は、これまで支持率が落ちて立ち直ってきたが、今や身内の支持を失いつつあるようだ。

日本の検察当局は18日、妻の案里氏が初当選した昨年の参議院選挙をめぐり、票の取りまとめを依頼するため地元議員らに現金を配った容疑で河井夫妻を逮捕した。東京地検によると、夫妻は5人に計170万円を供与。これとは別に、克行容疑者は約90人に計2400万円を支払った。

案里氏には自民党本部から1億5000万円の政治資金が支払われていた。違法ではないものの、その額の大きさから、安倍首相が了承したものかどうか疑問の声が出ている。安倍首相は18日、通常国会閉会を受けて開いた記者会見で、河井容疑者の逮捕について「大変遺憾だ。かつて法相に任命した者として責任を痛感している」と述べた。

「総理は持たない」と、自民党の中堅議員は話す。「年末まで持つのは厳しいのではないか」。

有権者の間では安倍政権による新型コロナウイルスの経済対策に不満が高まっていたが、河井夫妻の逮捕というスキャンダルが、さらに支持率に影響を与えそうだ。検察幹部の定年延長問題を巡っても、司法の独立を脅かすとして批判にさらされていた。

「当然だけど大きなお金も動いている。そのお金は闇の中ということなのか」と、東京の主婦（65）は言う。「安倍さんの責任は重い」。

<背負う数字>

2007年にいちど退陣した安倍氏が、首相に再び咲いたのは2012年12月。自民党総裁として最後となる3期目の任期は、来年9月に終わる。

安倍首相は、突然辞めた07年と同じ轍は踏まないと考えているかもしれないが、ポスト安倍をめぐるレースは熱を帯びてきた。

「総理は数字を背負っている。2021年9月という数字を」と、東京を拠点に日本を見続けてきたファンドマネジャー、イエスパー・コール氏は語る。「(後任を狙う)自民党の挑戦者たちは、駐機場で離陸する準備をしている」。

安倍首相に近いものの、世論調査の支持率が低い岸田文雄元外相は、ポストコロナ時代の政策立案を目指す党内の勉強会、「新国際秩序創造戦略本部」を立ち上げた。逆に世論からの支持率は高いが、自民党国会議員の間で人気は低く、安倍首相に批判的なことで知られる石破茂元防衛相は、党の二階俊博幹事長との関係

を深めている。

河野太郎防衛相が首相の座を狙っているという憶測もある。仮に安倍首相が来年9月までの任期を全うできたとしても、特に日本経済が第2次世界大戦以降で最悪の事態に陥りつつある現状、自民党内そして政策の主導権を取り戻せるだけの力の回復は難しいかもしれない。

「もしかしたら日本のコロナ対応は悪くなかったのかもしれないが、それを相殺して余りある問題があるということだろう」と、与党のベテラン議員は言う。「首相をやっている期間が長いから、国民が(安倍首相に)『飽きている』のも(支持率低下の)原因だろう」。

日本では新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大はみられていない。しかし、初動対応や給付金支払いの遅れなどには批判がある。安倍首相は国民の不安に鈍感、といった声も聞かれる。

<首相が握るワイルドカード>

安倍首相は今年、全く違う光景を思い描いていたに違いない。ホスト国の首相として東京五輪・パラリンピックを迎え、選挙で自民党を勝利に導き、もしかすると党総裁の任期を延長できるかもしれない、と。そのバラ色のシナリオは、新型コロナウイルスの感染拡大で五輪延期が決まった3月に崩れ始めた。

日本のメディアが5月末に実施した世論調査の中には、内閣支持率が30%を切るものが2つあった。危険水域とされる水準だ。今月5-7日に日本経済新聞が行った調査では、支持率が前回から11ポイント減の38%に低下した。



6月18日、自民党総裁の外交特別補佐も務めた河井克行前法相(写真)の逮捕は、支持率が過去最低水準まで沈んだ安倍晋三首相にとって壊滅的な打撃となりかねない。2019年9月、東京の首相官邸で撮影(2020年 ロイター/Issei Kato)

安倍首相にはワイルドカードがある。事態を打開するため、解散総選挙に打って出るという手だ。党内からは、あり得ないが排除もし切れないとの声も聞かれる。安倍氏は首相として、5回の国政選挙で党を勝利に導いている。「安倍政権は解散風を吹かせないと持たない」と、与党幹部は指摘する。

安倍首相のもう一つの味方は、ライバルが弱いということだ。「政権を交代してほしいが、次に総理になってほしい候補者も別にいない」と、都内に住む26歳の翻訳家は話す。

首相は18日の会見で、「国民の信を問うべき時が来れば、解散を断行する」と語った。

取材協力：宮崎亜巳

首相・官房長官と近き誇示 河井前法相、参院選で自民内しこり
時事通信 2020年06月18日 20時31分

昨年7月の参院選をめぐる公職選挙法違反(買収)容疑で逮捕された河井克行前法相(57)と妻の案里参院議員(46)は、首相官邸中枢と密接な関係にあった。克行前法相は安倍晋三首相を外交面で支えるとともに菅義偉官房長官の側近としての立場をアピール。参院選直後の昨年9月に法務行政トップの法相に抜

てきされた。

問題となった参院選は、官邸が広島選挙区の改選2議席独占を狙って案里議員の擁立を主導。自民党岸田派重鎮で現職だった溝手顕正氏と競合する保守分裂選挙に突入した。

党本部がベテラン選挙スタッフを案里議員の陣営に派遣し、1億5000万円という破格の選挙資金を事前に投入。首相の秘書が現地入りし、菅氏も応援に駆け付けるなど官邸のこ入れの結果、案里議員は初当選を果たしたが、溝手氏は落選。党内にしこりを残した。

克行前法相は衆院当選7回。首相の党総裁復帰に貢献し、第2次政権以降、首相補佐官や党総裁外交特別補佐を務め、首相の名代として「安倍外交」を下支えした。同時に菅氏を囲む若手・中堅議員グループ「向日葵（ひまわり）会」も結成。菅氏側近として存在感を誇示してきた。

夫妻は逮捕前日の17日、国会に現れたが、記者会見は開かず、事件への具体的な説明を避けた。自民党中堅は「説明責任を何も果たさなかった」と批判した。

河井克行・案里夫妻、なぜ重用？ 安倍首相が「恩義を感じる」政策グループ

毎日新聞 2020年6月18日 21時55分(最終更新 6月18日 21時55分)



参院選で菅義偉官房長官の応援演説を受ける河井案里氏＝広島県尾道市のJR尾道駅前で2019年7月15日、淵脇直樹撮影

2019年参院選を巡る公職選挙法違反（買収）容疑で18日に逮捕された河井克行容疑者は、安倍晋三首相と菅義偉官房長官が重用していた。妻の案里容疑者も政権挙げての支援を受け、昨年の参院選で初当選。なぜ政権中枢は夫妻を重用・支援してきたのか？ 克行容疑者が中心的メンバーの政策グループ「きさらぎ会」と首相の関係に注目し、その背景を調べてみた。【秋山信一、飼手勇介】

「総理の補佐官を拝命したということは、総理から深い信頼をいただいたということですから、その信頼にお応えできるように全力で安倍総理をお支えしていきます」

15年10月7日。内閣改組に伴って首相補佐官に起用された克行容疑者は、官邸での取材に高揚感を隠さなかった。首相と菅氏、克行容疑者の関係は長い。派閥に入っていない克行容疑者は、自らが役員を務める派閥横断の政策グループ「きさらぎ会」が15年9月に東京都内で首相を招いて開いた激励の集いの様子をフェイスブックにこうつぶった。「活動方針は安倍総理、菅官房長官を支えること。そのために毎月のように会合を開き、懇親を深め、結束を強くしてきた」

克行容疑者は、同グループ会長を務めた故嶋山邦夫元総務相らとともに、首相が党総裁に返り咲いた12年の総裁選で票のとりまとめに奔走し、「首相はきさらぎ会に恩義を感じている」（自民中堅）とされる。17年12月の忘年会では、あいさつした首相が「きさらぎ会にとってはゲストだけれど、自分はこのきさらぎ会

の会員です」と持ち上げてみせたほどだ。

菅氏も克行容疑者の動きを「よく（議員を）集めているよね」と評価。15年6月の克行容疑者のパーティーでは「なかなか外交ができる方は少ない。政権発足から2カ月に1回ぐらい（米国に）行き、人間関係もしっかりできている。これから安倍政権の中でますます役割を果たしていただける」とリップサービスしていた。

実際、補佐官就任前から「首相の指示」を受けたとして外国訪問を重ね、衆院外務委員長時代には「訪日する外国要人のリストと想定問答を作らされ、一文一文を説明させられた」（政府関係者）という。

16年11月に首相が各国首脳に先駆けて就任前のトランプ米大統領と会談した際も補佐官として先行訪米。渡米前に官邸で記者団に「総理からは『徹底的にトランプ氏の関係者と会ってほしい』と言われていた」と語った。17年5月の訪米前には「今回で第2次政権発足後、25回目（の訪米）になります」と強調。直後のパーティーでは「総理の、いわば目となり耳となり、口となり、手となり、足となって活動させていただく」と誇らしげに話した。

ただ、首相との「蜜月ぶり」をアピールする姿は政権内では不評だった。当時の官邸幹部は「派遣？ 『自主派遣』だろ」と冷笑。外務…

残り1426文字（全文2576文字）

【深層NEWS】石破氏「前法相で極めて異例」、前原氏「自民党に説明責任」…河井夫妻逮捕

読売新聞 2020/06/18 23:26

自民党の石破茂・元幹事長と国民民主党の前原誠司・元外相が18日、BS日テレの「深層NEWS」に出演し、河井克行・前法相と妻の案里参院議員が昨年7月の参院選を巡る買収容疑で東京地検特捜部に逮捕された事件について議論した。

石破氏は「前法相という検事総長に対して指揮権を発動する立場だった人が逮捕されたのは極めて異例だ」と指摘した。前原氏は、自民党本部が参院選前、案里容疑者陣営に計1億5000万円を支給したことについて、「1億5000万円が何に使われたのか、自民党は説明責任を果たしてほしい」と述べた。

「憲政史の汚点」「前代未聞」河井夫妻逮捕に与野党啞然

朝日新聞デジタル 石井潤一郎 2020年6月18日 22時30分



衆院本会議を終え、記者に囲まれて国会を後にする河井克行氏＝2020年6月17日午後3時10分、恵原弘太郎撮影



自民党を離党した前法相の河井克行衆院議員と妻の案里参院議員が18日に公職選挙法違反(買収)容疑で東京地検特捜部に逮捕されたことを受け、野党からは安倍晋三首相の任命責任を問う声が相次いだ。与党からも政権運営への懸念が示されたものの、党幹部は多くを語らなかった。

「逮捕されるような行動をとっていた方を法相に任命した首相の見識が問われる」

立憲民主党の枝野幸男代表は記者団にそう語り、首相を批判した。特に克行氏が刑事司法のトップだったことも問題視し、「一言で言って、焼きが回ったとしか言いようがない。退陣表明でもされたいんじゃないか。法相に任命した見識を疑う」と語気を強めた。

国民民主党の玉木雄一郎代表は「夫婦そろって現職の議員が同時に逮捕されるというのは憲政史上に残る汚点だ」と、事態の深刻さを強調。そのうえで「お金の原資は自民党から出ており、(両氏が)離党したとはいえ自民党の責任も極めて重い」とも述べた。

共産党の小池晃書記局長も、首相が克行氏を法相に任命した経緯から「犯罪行為の疑いをかけられる人物を法務大臣にすえていたという意味では単なる任命責任を超え、重大な責任が安倍首相には問われる」と語った。

与党内でも、夫妻の問題にとどまらないとして、首相らの責任を指摘する声上がる。

公明党の斉藤鉄夫幹事長は「政治不信を招いた。政権にとって大きな打撃になっている」とし、「総理の任命責任はある」と明言した。

自民党の石破茂元幹事長は記者団に「政権に非常に大きな影響がある。そういう覚悟はしなければいけない」と語り、政権運営に対する悪影響への懸念を表明。石破派の田村憲久・元厚生労働相はBS番組で「前の法務大臣が逮捕ということで本当に前代未聞。(選挙資金などで)党の話も絡んでくるとすれば、党として説明しなければならぬ」と、党として何らかの説明が必要との考えを示した。

一方、党幹部は公に多くを語らなかった。案里氏が所属する二階派を率いる二階俊博幹事長は、記者団の取材要請に応じずにコメント発表で対応。「大変残念なことで厳粛に受け止めたい」としたが、「捜査の推移を見守りたい」と記すにとどめた。岸田文雄政調会長は、「自民党の信頼回復のため努力をしなければならぬ」と応じて見せたが、首相の任命責任の有無を問われても同様の文言を繰り返すばかりだった。(石井潤一郎)

議員逮捕に各党からは…「厳粛に受け止める」「議員辞職を」

NHK2020年6月18日 19時14分



河井前法務大臣と案里議員が逮捕されたことについて、与野党からは「大変残念なことだが、厳粛に受け止めたい」、「速やかに議員辞職すべきだ」などという意見が聞かれました。

自民 二階幹事長「大変残念なこと 厳粛に受け止める」

自民党の二階幹事長は「大変残念なことだが、厳粛に受け止めたい。本件は、現在捜査中のことであり、今後の捜査の推移を見守

りたい」というコメントを出しました。

自民 岸田政調会長「信頼回復のために努力を」

自民党の岸田政務調査会長は記者団に対し、「離党したとはいえ、自民党に所属した国会議員が逮捕されたことは誠に遺憾だ。政治や自民党の信頼回復のために努力しなければいけない。政治家の身の処し方は、みずから判断すべきもので、裁判などを通じて、国民に対する説明責任を果たしていくことが大事だ」と述べました。

自民 石破元幹事長「民主主義の否定 党として反省を」

自民党の石破元幹事長は記者団に対し、「仮に事実であれば、わが党の候補者が、票を金で買うという民主主義の否定にも等しい行為をしたことになる。わが党としても、本当に反省しなければいけない。党の在り方をもう一度見直さないと、国民から厳しい判断を受けることになるという危機感を持たねばならない」と述べました。

河井氏主宰のグループメンバー「本人を信じるしかない」

河井克行前法務大臣が主宰する自民党無派閥の若手議員らで作るグループ「向日葵会」のメンバーの1人は、「衝撃だ。河井前大臣本人が違法性はなかったと主張しているようなので、それを信じるしかない」と述べました。

立民 枝野代表「安倍首相の見識が問われる 退陣表明を」

立憲民主党の枝野代表は記者団に対し、「よりもよって、逮捕されるような行動を取っていた方を法務大臣に任命した安倍総理大臣の見識が問われる。ひと言で言って、安倍総理大臣は『焼きが回った』としか言いようがない。記者会見を行うということなので、退陣表明でもされたらどうかと思う」と述べました。

国民 玉木代表「夫婦は速やかに議員辞職を」

国民民主党の玉木代表は記者団に対し、「現職議員が夫婦そろって逮捕されるなど憲政史上ない前代未聞の大失態だ。強引な官邸主導の選挙が事態を招いたのではないかと。夫妻は速やかに議員辞職すべきで、辞職しないならば、議員辞職勧告決議案を提出すべきだ。自民党を離党したとしても終わりではなく、資金を出した自民党や安倍総理大臣の責任も厳しく問われる。早急に安倍総理大臣も出席して予算委員会の集中審議を開き、経緯を説明すべきだ」と述べました。

公明 山口代表「極めて厳しい事態」

公明党の山口代表は「2人の国会議員が逮捕されたことは極めて厳しい事態だ。もっと早く、説明責任を尽くすべきだった。捜査を通じて、実態が解明されることを期待したい。与党として、選挙という民主主義のプロセスをゆがめた行為は襟を正すべきで、政治不信が広がらないよう、信頼回復に努力をしていきたい」と述べました。

維新 馬場幹事長「自民党の金権体質の現れ」

日本維新の会の馬場幹事長は「現金を配ったとされる人数や金額が尋常ではなく、河井夫妻から有権者に対する説明がなかったことは残念だ。今回の事件は、自民党の金権体質のあらわれではないかと思うので、きちんと襟を正してほしい」と述べました。

共産 小池書記局長「安倍総理の責任 極めて重大」

共産党の小池書記局長は記者会見で、「かつてない大規模な買収が行われた疑いがあり、直ちに議員辞職すべきだ。克行氏を法務大臣という重責に就かせたことに加え、去年の参議院選挙では自

民党が巨額の資金を提供し、買収に使われた可能性がある。安倍総理大臣の責任も極めて重大だ。政府としても自民党としても国民に納得のいく説明をすべきで、予算委員会の集中審議を直ちに開催するよう求めたい」と述べました。

河井夫妻逮捕 現金配った疑いのうち約40人が地元議員

NHK6月19日4時01分



去年の参議院選挙をめぐり河井克行前法務大臣と妻の案里議員が逮捕された選挙違反事件で、現金が配られた疑いがある94人のうち、およそ40人が広島県議会や市議会などの地元議員だったことが関係者への取材で分かりました。検察当局は保守分裂の激しい選挙戦で案里議員を当選させるため多くの地元議員に現金を配り支持の拡大を図ったとみて捜査を進めています。

前の法務大臣の河井克行容疑者(57)と妻で参議院議員の案里容疑者(46)は、去年7月の参議院選挙をめぐって地元議員らに票の取りまとめを依頼し、報酬として現金を配ったとして18日、公職選挙法違反の買収の疑いで逮捕され、東京地検特捜部などは地元議員や後援会幹部など94人におよそ2570万円を配った疑いがあるとみて捜査を進めています。

関係者によりますと、検察当局は河井夫妻の自宅から押収した現金の配布先とみられる複数のリストをもとに捜査を進めていますが、現金が配られた疑いがある94人のうちおよそ40人が、広島県議会や市議会などの地元議員だったことが分かりました。また1人に100万円前後の多額の現金を配ったり、1人に何回も現金を渡したりしたケースもあったということです。



去年の参議院広島選挙区は自民党の2人目の候補として擁立された新人の案里議員とベテランの現職が保守分裂で激しく争う構図になっていて、検察当局は案里議員を当選させるために多くの地元議員に現金を配り、選挙戦への支持の拡大を図ったとみて捜査を進めています。

関係者によりますと、河井夫妻は違法な行為はしていないなどとして、議員辞職はしない意向を示しているということです。

党本部の1億5千万円と買収、関連捜査へ 河井夫妻逮捕

朝日新聞デジタル司法キャップ・佐々木隆広 2020年6月18日 22時26分



前法相の河井克行容疑者を乗せ、東京地検を出る車両=2020年6月18日午後4時23分、東京都千代田区、藤原伸雄撮影



昨年7月の参院選をめぐり、票の取りまとめを依頼する趣旨で約2570万円の現金を地元議員ら計94人に渡したとして、東京地検特捜部は18日、前法相の衆院議員・河井克行容疑者(57)=広島3区=を公職選挙法違反(買収)容疑で逮捕した。この参院選で初当選した妻の参院議員・案里容疑者(46)=広島選挙区=も、このうち5人に対する計170万円の買収容疑で逮捕した。

特捜部は認否を明らかにしていないが、夫妻は逮捕前の任意聴取に買収行為を否定していた。2人は17日に自民党を離党した。

特捜部は18日、容疑を裏付けるため、都内にある2人の国会議員会館の事務所などを家宅捜索。資料を押収するなどし、前法相らによる多額の買収容疑の実態解明を進める。克行議員を法相などとして重用した安倍晋三首相へのダメージは必至だ。

特捜部の調べによると、克行議員は昨年3月下旬~8月上旬、案里議員を当選させるため、計約2400万円の現金を広島県議など地元議員や後援会・陣営関係者ら91人に提供。案里議員は同年3月下旬~6月中旬、克行議員と共謀して計170万円を5人に渡した疑いがある。このうち2人は重複していた。大半は、夫妻の目的を認識した上で現金を渡されたことを任意の聴取で認めていた。

昨年夏の参院選は自民党候補が競合する激しい選挙戦となった。同年3月に案里議員が立候補を表明した後の4~6月、案里議員側に自民党本部から計約1億5千万円の資金が提供されていた。逮捕容疑の時期と重なっており、特捜部は多額の買収資金との関わりについても調べるとみられる。

2人の買収容疑は、案里議員陣営による車上運動員への違法報酬事件の捜査で浮上。広島・東京両地検が共同で捜査を進めてきた。関係者が多く、短期間で判決を目指す「百日裁判」となる可能性も踏まえ、捜査・公判態勢が充実した東京地検が逮捕した。

一方、朝日新聞の取材では、夫妻が昨年3~7月、1人につき5万~60万円、計31人に総額700万円超の現金を持参したことを確認。領収書のやりとりはなかったといい、受け取った地元議員らは「参院選で案里議員を応援してほしいとの趣旨だと思った」と証言していた。

克行議員は当選7回。昨年9月に法相に就任したが、案里議員陣営の違法報酬疑惑が明らかになった同10月に辞任した。案里議員は広島県議を4期務め、昨年7月の参院選で初当選した。

■首相に近い克行氏、東京地検は…

残り：488文字/全文：1487文字

「政権の責任重い」「広島に恥だ」 河井夫妻逮捕に地元から失望と怒りの声

毎日新聞 2020年6月18日 21時12分(最終更新 6月18日 21時33分)



河井克行容疑者の事務所が入る建物前に集まった報道陣=広島市安佐南区で2020年6月18日午後1時25分、平川義之撮影

河井案里容疑者(46)が初当選した2019年参院選を巡る選挙違反事件は、夫で前法相の克行容疑者(57)と案里議員が逮捕さ

れる事態に発展し、地元の広島でも衝撃が広がった。参院選では、党本部が地元の頭越しに案里議員を擁立して激しい選挙戦になり、夫妻が2500万円を超える現金を配った疑いが持たれている。「巨額のカネで選挙がゆがめられたのか」。地元政界や有権者からは驚きや怒り、徹底解明を求める声が上がった。

「逮捕は当然で、国会の閉会を待っての着手は遅すぎる。河井夫妻は離党だけでなく、議員辞職すべきだ」。自民党広島県連副会長の碓井法明・広島市議は強い口調で批判した。河井夫妻は地元議員ら94人に現金を渡した疑いがあり、碓井市議は「現金を受け取った議員らも処罰を受けるべきだ」と指摘した。
残り 677 文字 (全文 1020 文字)

かす。前代未聞の選挙戦の背景には、案里容疑者の擁立を巡る地元の広島県連との確執があった。

残り 2227 文字 (全文 2523 文字)

河井夫妻逮捕 野党側は首相責任追及 政府与党は信頼回復努める

NHK2020年6月19日 4時03分



自民党を離党した河井克行前法務大臣と妻の案里参議院議員が逮捕されたことを受けて、野党側は予算委員会の集中審議を行うよう求めるなど、安倍総理大臣の責任を追及したい考えです。一方、政府・与党は、信頼回復に努め政権運営への影響を最小限に抑えたい考えです。

前の法務大臣の河井克行容疑者と妻で参議院議員の案里容疑者は、去年7月の参議院選挙をめぐって地元議員らに票の取りまどめを依頼し、報酬として現金を配ったとして18日、公職選挙法違反の買収の疑いで逮捕されました。

立憲民主党の枝野代表は「逮捕されるような行動をとっていた方を法務大臣に任命した安倍総理大臣の見識が問われる」と批判しました。

野党側は、衆参両院で予算委員会の閉会中審査を開催し集中審議を行うよう求めるなど、安倍総理大臣の任命責任などについて追及したい考えです。

一方、安倍総理大臣は「法務大臣に任命した者として、その責任を痛感している。国民の皆様にも深くおわび申し上げます」と陳謝しました。

政府・与党は、司法の判断に委ねるべきだなどとして集中審議の開催には否定的ですが、信頼回復に努め政権運営への影響を最小限に抑えたい考えで、与野党の間で協議が行われる見通しです。

野党側 予算委で集中審議求める 河井前法相 案里議員逮捕

NHK2020年6月18日 17時41分



河井克行前法務大臣と妻の案里参議院議員が逮捕されたことを受けて、野党側は克行氏を法務大臣に任命した理由などについて、安倍総理大臣から説明を聞く必要があるとして、予算委員会で集中審議を行うよう求めることを決めました。

河井夫妻の逮捕を受けて、立憲民主党、国民民主党、共産党、社民党の国会対策委員長らが国会内で会談し、対応を協議しました。会談では、河井夫妻が説明責任を果たすことなく逮捕されたのは遺憾で、克行氏を法務大臣に任命した安倍総理大臣の責任は極めて重いという認識で一致しました。

そのうえで克行氏を任命した理由や去年の参議院選挙の前に自民党本部が案里氏側に1億5000万円を振り込んだことなどについて、安倍総理大臣から説明を聞く必要があるとして、衆参両院

「原資、捜査される」 自民に不安拡大 河井夫妻逮捕

朝日新聞デジタル野平悠一、安倍龍太郎 2020年6月18日 22時34分



記者会見に臨む安倍晋三首相=2020年6月18日

午後6時5分、首相官邸、岩下毅撮影

法務行政のトップである法相経験者とその妻、2人の現職国会議員が同時に逮捕された。引き立ててきた安倍晋三首相の責任が明確に問われ、政権が大きな打撃を受けることになった。

通常国会閉会を受けて行われた首相の18日の記者会見は、謝罪から始まった。

「かつて、法務大臣に任命したものとしてその責任を痛感しております。国民の皆様にも深くおわび申し上げます」

2019年9月の内閣改造で法...

残り：1052文字／全文：1228文字

「総理案件」大金動く 広島県連と対立、選挙劣勢覆す 河井夫妻逮捕

毎日新聞 2020年6月18日 20時59分(最終更新 6月18日 22時30分)



自民党から立候補した参院選で当選確実になり、支持者にあいさつをする河井案里容疑者。後ろには安倍首相と一緒に写った写真が掲げられていた=広島市中区で2019年7月21日、山崎一輝撮影

「応援に来られるのは『安倍晋三事務所の秘書さん』ではなく、『安倍総理大臣秘書』と表現してください」

参院選が迫った2019年5月12日早朝、河井案里容疑者(46)の陣営が使っていた無料通信アプリ「LINE(ライン)」で、選挙戦を取り仕切る夫の克行容疑者(57)のアカウント名「あらいくま」から指示が出た。翌日に安倍首相の山口県事務所からベテラン秘書ら5人が応援に来る予定で、「全員表に出て拍手で迎えるように」と念押しする細かな気遣いも見せた。

自民党関係者は、首相秘書の選挙応援は「極めて異例だ」と明

の予算委員会で集中審議を行うよう与党側に求めることを決めました。

立憲民主党の安住国会対策委員長は記者団に対し「安倍総理大臣は、克行氏の任命責任があることに加え、通常国会が150日間あったにもかかわらず、説明責任を果たすよう2人を指導してこなかった。一番の大きな責任は安倍総理大臣にある」と述べました。

河井夫妻逮捕 与党からも批判、野党は首相の任命責任追及

産経新聞 2020.6.18 20:51

昨年7月の参院選をめぐり、前法相で衆院議員の河井克行、妻で参院議員の案里両容疑者＝いずれも自民党離党＝が18日、東京地検特捜部に公職選挙法違反（買収）の容疑で逮捕されたことに、与党からも批判の声が上がった。野党は克行容疑者を法相に起用した首相の任命責任を追及する構えで、予算委員会の集中審議開催を要求した。

自民党の鈴木俊一総務会長は取材に「非常に遺憾だ。信頼を取り戻すため、しっかりやっていくしかない」と述べた。石破茂元幹事長は記者団に「票を金で買うという民主主義の否定に等しい行為だ。党の在り方を問い直さないと国民から厳しい判断を受ける」と批判。公明党の斉藤鉄夫幹事長は「政治不信を招いたとの観点から許されざることで、議員辞職に値する。与党や政権に大きな打撃になっている」と語った。

立憲民主党の枝野幸男代表は記者団に「逮捕されるような行動を取っていた人を法相に任命した首相の見識が問われる。退陣表明でもしたらいい」と批判した。国民民主党の玉木雄一郎代表も「夫婦そろって現職議員が逮捕されるのは憲政史上に残る汚点だ。辞職しないのなら、速やかに議員辞職勧告決議案を提出したい」と表明した。

野党は案里容疑者が広島選挙区で初当選した昨年の参院選で自民党本部から計1億5000万円が陣営に送金されたことや、首相が地元秘書を広島入りさせ、菅義偉（すが・よしひで）官房長官も何度も応援に入るなど強力で支援してきたことも問題視している。

立民の安住淳国対委員長は記者団に「（首相は）自民党総裁として1億5000万円を渡した経緯も説明する責任がある」と述べ、共産党の小池晃書記局長は「なぜ特定の候補にこれだけの資金援助、支援をしたのか。真相解明が必要だ」と訴えた。

野党、総理の任命責任追及で委員会開催を求める方針

ANN2020/06/18 20:18



河井克行前法務大臣と妻の案里参議院議員が逮捕されたことを受け、立憲民主党などの野党は予算委員会の開催を求めて安倍総理大臣の責任を追及する方針です。

立憲・枝野代表：「逮捕されるような行動を取っていた方を法務大臣に任命した総理の見識が問われる。退陣表明でもされたいんじゃないかと思います」

国民・玉木代表：「夫婦そろって現職の議員が同時に逮捕されるなどというのは憲政史上に残る汚点。速やかに議員辞職すべきだ。安倍総理はじめ、自民党の説明責任も厳しく問われる」

立憲民主党などの野党は「政治とカネ」をテーマにした予算委員会を開くことを与党に求める方針です。安倍総理の任命責任を追及するほか、去年の参議院選挙の際に自民党本部が案里容疑者側に渡した1億5000万円について安倍総理に直接説明を求める考えです。また、克行容疑者と案里容疑者の議員辞職勧告決議案の提出も検討していく考えです。

現職議員が“容疑者”に “買収資金”はどこから？

ANN2020/06/18 19:19

現職の国会議員夫妻が逮捕される前代未聞の事態です。地元の県議らを買収した疑いで逮捕された河井克行容疑者と妻の案里容疑者を乗せたと思われる車が18日午後、東京拘置所に入りました。

法務行政のトップを務めた前法務大臣とその妻が公職選挙法違反の買収の疑いで東京地検特捜部に逮捕されました。買収事件の舞台は去年7月、案里容疑者が初当選した参議院選挙でした。自民党から2人が立候補する、いわゆる「分裂選挙」の激しい戦いとなるなか、河井夫妻は票の取りまとめを依頼する目的で地元・広島県の議や市議ら延べ96人に現金約2570万円を配った疑いが持たれています。2人はこれまでの任意の事情聴取に対し、買収行為を否定しています。東京地検特捜部は現金配布の大半を克行容疑者が洒っていたとみられることから、克行容疑者が買収行為を主導していたとみて捜査しています。2人は17日にそろって自民党を離党していますが、安倍総理大臣が法務大臣に任命した責任について与党内から厳しい声が上がっています。

現金が配布されたほぼ同じ時期に自民党本部から河井夫妻陣営に一般の候補者の10倍にあたると思われる1億5000万円の政治資金が提供されていることから、野党は安倍総理の説明を求めています。自民党は1億5000万円について、広報誌を複数回、配布することに使ったとして買収資金に使われたことを否定しています。

揺らぐ“安倍一強” 「早く解散総選挙を」の声まで

ANN2020/06/18 17:30

去年の参議院選挙で地方議員らを買収した疑いで河井克行前法務大臣と妻の案里参議院議員が18日午後、逮捕されました。河井夫妻の逮捕で政権運営にはどのような影響があるのでしょうか。国会記者会館から報告です。

（政治部・安間由太記者報告）

今回の2人の逮捕で安倍政権の体力は大きく奪われることになりそうです。去年の案里容疑者の選挙は安倍政権中枢が擁立を主導した経緯があり、自民党内からは「無理やり案里容疑者を擁立した官邸の責任だ」といった批判の声が上がっています。さらに、夫の克行容疑者は総理補佐官など安倍総理大臣の側近ともいえる役職を歴任したうえで、買収が行われたとされる選挙の後に法務大臣に就任していて、閣僚経験者の一人は「安倍総理の任命責任が問われる」と指摘しています。また、新型コロナウイルスへの対応などで政権への風当たりがただでさえ強まっているな

かでの逮捕だけに、政権の中枢からは「これ以上傷が深くなる前に早く解散総選挙に踏み切ってもらいたい」といった声まで聞こえてきます。「安倍一強」とまでいわれていた政権はここにきて一気に揺らぎ始めています。

今後の捜査のポイント…元東京地検特捜部検事が解説

ANN2020/06/18 23:30

前法務大臣の河井克行容疑者（57）と、妻の案里容疑者（46）をめぐる買収疑惑について、元東京地検特捜部検事の中村信雄弁護士に聞きます。

※今回の逮捕について

国会議員、そして前法務大臣、しかも夫婦で約2570万。かなりの金額を、直接、手渡していたのは相当重大な事件だと思う。重大な選挙違反だと思う。特捜部が威信をかけて、捜査することになると思う。

※今後の捜査について

主なポイントは2つ。“買収”の立証。票を取りまとめるためだったのか。そして、約2570万円の出どころ。まず、現金をもらった側の認識。票の取りまとめを依頼されている。買収行為だと認識していたことを供述から立証することが柱となる。それと同時に、金額、時期、状況を踏まえて客観的な状況から『選挙の趣旨でしょう』と立証していく。2人はこれまでの検察による任意の事情聴取には、買収について否定しているが、“否定”には2つの意味がある。現金の授受自体がなかったという“否定”と、現金は確かに渡したが選挙買収の趣旨ではないという“否定”。96人が現金をもらった、政治資金収支報告書に書いているなどの状況があると、現金の授受を否定するのは難しい。今回は恐らく“趣旨”を否定しているのではないかと。

※約2570万円の出どころについて

お金を渡したということは、お金があったということが証明されなければならない。常識的に考えて1億5000万円から出ていると推測として成り立つ。もし、ここから出ていないと、どこから出たのかとの捜査になる。1億5000万円がどう使われたのか。この事態が捜査の対象となる。振り込みや関係者の供述を集めて、地道に立証していくことになる。

静まり返る地元事務所 怒る市民「さっさとやめろ」

ANN2020/06/18 17:25

去年の参議院選挙で地方議員らを買収した疑いで河井克行前法務大臣と妻の案里参院議員が18日午後、逮捕されました。河井議員の地元・広島市の事務所前から報告です。

（西田隆人記者報告）

河井克行容疑者の事務所には18日朝早くから多くの報道陣が詰め掛けていて物々しい雰囲気ではありますが、一方の事務所は静まり返っています。逮捕報道の前も後も一切、関係者や検察の出入りはなく、静かな状況が続いています。こちらの事務所は今年1月に、いわゆる「ウグイス嬢」への違法報酬疑惑で家宅捜索を受けています。そういった疑惑が発覚して以降、河井夫妻は夫婦ともに広島県内で公の場に姿を現していません。そういったなかで今回の逮捕を受け、地元からは怒りの声が上がっています。

河井夫妻の地元有権者：「私らが選んだので恥ずかしい思いが

あります。さっさと辞めればいいのに」

広島県議会・中本隆志議長：「広島県選出の国会議員2人が逮捕されたことは本当に残念だと思う。河井夫妻については強い憤りを感じる」

自民党広島県連の副会長でもある県議会議長からは自民党本部に説明を求めたいといった意見まで出ました。真相解明を求める声は日増しに高まるばかりです。

東京地検、河井議員夫妻の認否や詳しい説明避ける

ANN2020/06/18 17:15

去年の参議院選挙で地方議員らを買収した疑いで河井克行前法務大臣と妻の案里参院議員が18日午後、逮捕されました。捜査の最新情報を東京地検前から報告です。

（社会部・中村昌太郎記者報告）

午後4時前から東京地検が事件について説明をしました。ただ、2人の認否は明らかにせず、証拠内容に関わるとしてその他の詳しい説明も避けました。検察当局は国会の閉会を待って捜査に着手する方針を固め、河井夫妻に午後に出頭するよう要請し、東京地検の建物の中で逮捕状が執行されました。東京地検特捜部によりますと、河井克行容疑者と案里容疑者は去年の参議院選挙を巡り、地元の県議や市議などに票の取りまとめを依頼し、その報酬として延べ96人に合わせて2570万円を配った疑いが持たれています。このうち克行容疑者については去年の3月下旬ごろから8月上旬ごろまでの間に91人に対し、実に116回にわたって約2400万円を渡していたということです。この事件を巡っては、東京地検と広島地検が河井夫妻の地元である広島の県議や市議から広く事情を聴くなどして裏付け捜査を進めていました。夕方、東京地検の建物から2人を乗せたと思われる車2台が出ていきました。2人の身柄はこの後、東京拘置所に移送される見通しです。

地元有権者は怒りと不信感「政界から出て行って」

ANN2020/06/18 12:27

河井克行、案里夫妻が18日にも逮捕されるとの報道に地元の広島では怒りの声が上がっています。

（平彩佳記者報告）

案里議員がかつて所属していた広島県議会です。18日朝から多くの報道陣が詰め掛けて議会周りは普段より物々しい雰囲気でした。朝の「逮捕へ」という一報を受けて県民からは怒りの声が上がっています。

男性：「早く政界から出て行ってほしいですね。不信感が大きいですね。嘘ばかりですね。嘘の塊」

女性：「広島の間人として恥ずかしいですね」

県議らは朝、淡々と登庁している様子でした。ある県議は「自分が言及することではない」と話していました。これまでも取材に対して何度も怒りをあらわにしてきた中本議長は今回の一報を受け、改めて「伝統ある県議会。ずっと難局を乗り越えながらここにきて、この問題。県政界自体に黒い疑惑があるのではという言われ方もしているので大変、遺憾である。早く事実解明をして終止符を打ってほしい」と話していました。

「前代未聞」夫妻逮捕を元特捜部長が解説

NNN2020年6月18日 21:38

18日、東京地検特捜部は河井克行前法務大臣と、妻の案里議員を、公職選挙法違反の疑いで逮捕しました。夫婦ともに現職の国会議員で同時に逮捕されるのは異例のことです。元東京地検特捜部長で日本テレビ客員解説員の熊崎勝彦弁護士に詳しく聞きました。

18日、東京地検特捜部は河井克行前法務大臣と、妻の案里議員を、公職選挙法違反の疑いで逮捕しました。夫婦ともに現職の国会議員で同時に逮捕されるというのは異例のことです。

■事件の整理

事件の構図を整理します。河井夫妻をめぐる事件は大きくわけて2つあります。

まず1つめの事件。

案里容疑者が出馬した2019年の参議院議員選挙をめぐり、克行容疑者の元政策秘書と案里容疑者の公設秘書の2人が起訴されました。起訴内容は、車上運動員、いわゆるウグイス嬢14人に対し、法定の上限を超える報酬合わせて204万円を支払ったという公職選挙法違反です。

2つめの事件。

検察は1つめの事件を捜査する過程で、河井夫妻の事務所や自宅を家宅捜索したところ、夫妻の自宅から現金の配布先を示したとみられるリストが押収されたということです。つまり、秘書によるウグイス嬢への違法な報酬事件の捜査を入口に、証拠を積み重ねて買収の疑いを強め、18日の夫妻の逮捕につながったということです。

どちらも2019年の参院選での河井案里陣営をめぐる事件ですが、今回、夫妻が逮捕されたのは2つめの買収事件です。

■元東京地検特捜部長「前代未聞の事件」

買収事件について詳しくみていきます。

夫妻は票のとりまとめなどを依頼する目的で、地元広島県の議会議員や市議会議員らに現金を渡した公職選挙法違反の疑いがもたれています。関係者によりますと、現金を渡したのは克行容疑者が9人、案里容疑者が5人で、総額2570万円にのぼるとみられています。

これが事実だとすれば、議員本人による「カネにものをいわせた選挙」に捜査のメスが入ったといえます。

元東京地検特捜部長で日本テレビ客員解説員の熊崎勝彦弁護士にも詳しくお話を伺います。

Q: およそ100人に対して2500万円の事件。今回どのようになっていますか？

A: 前代未聞の事件です。これだけの多額の金額がまかれたとい

う疑い、現職の国会議員が直接絡む案件という意味では、私が経験して知る限りでは例がないのではないかとというのが第一印象です。

ウグイス嬢に対する違法報酬事件・公職選挙法違反を入口に、検察は幅広く関係先を捜索しています。これは全容解明に対する検察の並々ならぬ意欲を感じます。非常に手堅く証拠固めをしていると考えられます。

Q: 議員会館事務所を家宅捜索する意味はどこにある？

A: 両国会議員がこれだけ多額の長期間にわたる現金買収を行ったという非常に規模の大きい事件ですから、徹底的に証拠を固めていく。さらに、金の流れ等を含めた全容を解明しなければならないという、検察の背景があります。証拠隠滅を防ぐという意味でも幅広く捜索していく、そういうことだと思います。

■自民党本部からの1億5000万円の用途は不明

参議院選挙の前、2019年4月から6月にかけて、自民党本部から案里容疑者と克行容疑者の選挙区の支部にそれぞれ7500万円が送金されました。その後、克行容疑者の金は案里容疑者の支部に移されました。合わせて1億5000万円が、案里容疑者の支部に集められていたことが分かっています。

この1億5000万円が買収に使われたのかどうか、真相はまだ分かっていません。自民党の二階幹事長は「党勢拡大に伴う広報紙の配布費用にあてたと報告を受けている。買収資金に使うことができないことは当然」と話しています。

では、なぜこんな大金なのか。

実は、案里容疑者の選挙戦は、同じく広島選挙区から立候補していた自民党の溝手顕正前参議院議員との大接戦となっていました。このため、選挙戦では菅官房長官自らが地元まで応援に駆けつけるなど、安倍総理や官邸の強力なバックアップがありました。

この時、自民党本部から溝手前議員に渡った金は1500万円なので、河井夫妻はその10倍という破格の金額を受け取っていたこととなります。結局、溝手議員は落選し、案里議員が初当選しました。

カネの流れについて、熊崎勝彦弁護士に聞きました。

Q: 自民党本部から受け取ったこの1億5000万円が今回の選挙マネーに使われた可能性があるのか？

A: 今後の捜査の注目点の1つになるかと思います。買収資金の原資はどこから来た金なのか？捜査の基本としてそこを解明しないといけません。自民党本部からの運動資金としての1億5000万円が買収資金の原資として使われていたのか、それはまだ明らかになっていません。この金の流れの解明は注目点だと思います。

Q、国会が17日に閉会したばかり。このタイミングでの逮捕はどう思いますか？

A、一般的には、国会議員には検察や捜査当局の権力の不当な介入を招かない、という特権が認められています。その1つとして、このような会期中における逮捕の場合は許諾を要する、ということになっています。検察側としては、逮捕が妥当かどうかの判断のために証拠をある程度開示しなければなりません。また、政治にあまり影響を与えたくない、ということもあり、会期終了を待って逮捕したというふうを考えられます。手の内を明かさないと理由で国会が終了するのを待っていた、というのも一つあります。

Q、これまでの疑惑段階では、任意の聴取に対して2人とも否定していたということですが、今後の捜査のポイントは？

A、今回、どういう否認をしているのか詳しく分かりませんが、その対応によって、さらなる証拠固めを検察はやってくると思います。また、金の流れの解明にも注力すると思います。

■夫妻の今後とは？

克行容疑者と案里容疑者はこのあと東京拘置所に身柄を移され、今後東京地検特捜部の調べが進められることとなります。夫妻で現職の国会議員、しかも夫である克行容疑者は検察を管轄する法務省のトップを務めた人です。

その二人が、票をカネで買うという民主主義の根幹を揺るがす容疑で、検察によって逮捕される事態に発展しました。そもそも克行容疑者を法務大臣に任命した安倍政権への打撃は避けられません。

野党側が追及「首相の責任厳しく問われる」

NNN2020年6月18日 16:09

去年の参議院選挙をめぐる河井案里容疑者陣営の選挙違反事件で、東京地検特捜部が夫の克行容疑者と案里容疑者を逮捕したことについて、政局への影響です。国民民主党の玉木代表は、去年の参議院選挙で案里氏を全面支援した安倍首相に説明責任を果たすよう求めました。

買収資金の原資は明らかになっていませんが、野党側は今後、参院選に先立って、自民党本部から案里氏の陣営に振り込まれた1億5000万円の使い道などについても追及する方針です。

国民民主党・玉木代表「ももとの買収に使われたお金は自民党から出ていますし、安倍事務所も含めて自民党の職員、秘書が何人も現地に入って選挙活動していたわけですから、当然自民党側の安倍総理の説明責任も厳しく問われると思いますので」

1億5000万円をめぐる自民党の二階幹事長が17日、「広報紙を複数回全県に配布した費用に充てられた」と説明しました。しかし自民党内からも「そんなもので1億5000万円もかからない。ちゃんと説明すべきだ」との声が上がっています。

一方、官邸関係者は「法をつかさどる法務大臣だった人の逮捕となればどれだけ支持率が下がるか」と緊張感をにじませました。

ただ、国会開会中に比べれば野党からの追及の場が少ないため、政権への打撃は限定的だという楽観的な見方も出ています。

かつて“裏金”追及も…河井夫妻について逮捕

NNN2020年6月19日 05:09

「前代未聞の事件」 河井夫妻逮捕を元特捜部長が解説
去年の参議院選挙をめぐる買収疑惑が浮上していた河井克行前法務大臣と妻の案里議員が、18日、ついに逮捕されました。去年、法務大臣として初入閣していた克行容疑者。そして妻の案里容疑者はかつて広島県議会議員であった時、「知事、男らしくなさいよ」と政治資金の裏金問題を厳しく追及していました。結局、一切の説明をしないまま逮捕された2人。今、何を思うのか。

◆大きく動いた事態、現職国会議員の逮捕

18日、事態は大きく動きました。

記者「午後4時20分すぎです。いま河井克行容疑者を乗せたと思われる車が東京地検から出て行きます」

さらに――

記者「河井案里容疑者を乗せたと思われる車が東京地検から出て行きます」

東京地検特捜部が、前法務大臣の河井克行容疑者と妻で参議院議員の案里容疑者を公職選挙法違反の疑いで逮捕したのです。車は東京拘置所へ。ここでも車内の様子をうかがうことはできませんでした。

◆克行容疑者は容疑を否認

特捜部は、克行容疑者の事務所がある衆議院第二議員会館を家宅捜索。家宅捜索は案里容疑者の事務所がある参議院議員会館でも行われました。

特捜部によりますと、2人は去年の案里容疑者の参議院選挙をめぐる、票のとりまとめなどを依頼する目的で地元・広島の複数の県議らに現金を渡した疑いがもたれています。

関係者によりますと、逮捕された時、2人は淡々としていたといえます。また、克行容疑者と逮捕後に接見した弁護士によると、克行容疑者は「不正な行為はしていません」などと容疑を否認しているということです。

18日夜、安倍首相は――

安倍首相「本日、我が党所属であった現職国会議員が逮捕されたことについては、大変遺憾であります。かつて法務大臣に任命したものとして、その責任を痛感しております。国民の皆様には深くおわび申し上げます」

また、自民党総裁として「国民に対する説明責任も果たしていかなければならない」と述べました。

◆「男らしくなさいよ」案里容疑者は“裏金”追及も

克行容疑者はこれまでに当選7回。内閣総理大臣補佐官などを歴任し、去年9月、法務大臣として初入閣。就任パーティーでは――

河井克行容疑者「政治のやり方、政策、間違ったりおかしいところがあれば、それは勇気を持って発言して、そして言葉だけでなく実際の行動・結果で正さなきゃいけない」

一方、妻の案里容疑者は広島県の議会議員だった2006年当時、知事の政治資金の裏金問題を厳しく追及していました。

河井案里容疑者「知事、男らしくなさいよ。私がもし広島県知事でしたら、おそらく辞職をしています。男らしくなさい」

◆一切の説明をしないまま逮捕…しかし次々に証言があれから14年。同じ政治の金に関する事で、18日、逮捕された2人。その発端が、案里容疑者が当選した去年7月の参院選でした。車上運動員に法定を上回る報酬を支払っていたとして、案里容疑者の公設秘書らが逮捕・起訴されました。そして、今回の逮捕に至ったのが、河井夫妻が行ったとみられる、この選挙戦での“金のばらまき”です。

特捜部によりますと、克行容疑者は去年3月下旬から8月上旬までの間、のべ96人に対し121回にわたって合わせて約2570万円を渡した疑いが。案里容疑者も、克行容疑者と共謀してそのうちの5人に5回にわたり合わせて170万円を渡した疑いがもたれているのです。

「はい、すいませんね。捜査中だから」（17日）
「弁護士から止められております。申し訳ありません」（17日）
結局、一切の説明をしないまま逮捕された2人。しかし、取材を進めると、“克行容疑者が現金を持って訪ねてきた”という証言が次々と。

広島県内の議員「(渡された封筒に)30万円入ってました。河井(克行)容疑者が(金を)持ってきたのも初めてだし、金額も結構厚さがあったものですから、受け取っちゃいけないお金なんだろうなという感じはしました」

別の政治関係者も。
広島の政治関係者「ちょうど河井(克行容疑者)が来て、私はおらんかったんです。事務員に金を渡して、ポケットにねじ込んで帰ったらしい」

また、ある議員は去年5月、案里容疑者から「県議選の当選祝い」として封筒に入った現金を渡されそうになり、断ったといいます。

◆“ばらまいた”金はどこから？
ばらまいたとみられる金はどこからきたのか。
安倍首相に、菅官房長官。強力な支援を受け戦った去年の参院選。この時……

——党本部から1億5000万円もらったんでしょうか？
河井案里容疑者「(1億5000万円)いただきましたが、違法ではありません」

自民党本部からは、1億5000万円の資金が案里容疑者陣営に投入されました。ばらまきに党本部の金が使われた可能性はあるのでしょうか。

自民党の二階幹事長は。
二階幹事長「支部の立ち上げに伴う党勢拡大のための広報誌を複数回、全県に配布した費用にあてられたと」

2人は買収について否定していますが、自宅からは現金の配布先を示したとみられるリストが押収されています。特捜部と広島地検は、実態解明を進めるとみられます。

◆地元有権者の反応は？野党は…
2人の逮捕に地元・広島の有権者は。
地元の有権者「まあ当然のことだと思います。むしろ遅かったんじゃないかと」

——河井夫妻に対して思うことは？
地元の有権者「ちゃんと説明してください」

政界の反応は。
立憲民主党・枝野代表「逮捕されるような行動をとっていた方を法務大臣に任命をした総理の見識が問われると。一言で言って焼きが回ったとしか言いようがない」

野党は、安倍首相の説明責任を追及するとともに、河井夫妻の議員辞職を求める方針です。

(*18日放送『news zero』より)

克行容疑者“不正な行為してない”夫妻逮捕

NNN2020年6月19日 05:08

「前代未聞の事件」河井夫妻逮捕を元特捜部長が解説
去年の参議院選挙をめぐる河井案里議員陣営の選挙違反事件で、東京地検特捜部は、夫の克行前法務大臣と案里議員を逮捕しました。

公職選挙法違反の疑いで特捜部に逮捕されたのは、自民党を離党した前法務大臣の河井克行容疑者と、妻の案里容疑者です。特捜部の発表などによりますと、2人は、去年の案里容疑者の参議院選挙での票の取りまとめなどを依頼する目的で、地元・広島の複数の県議会議員などに現金を渡した疑いがもたれています。

克行容疑者は、のべ96人に対し121回、あわせて約2570万円を、案里容疑者も克行容疑者と共謀してそのうちの5人に5回にわたってあわせて170万円を渡した疑いがもたれています。

広島県内の議員「30万円入ってました。河井さん(克行前法相)が(金を)持ってこられたのも初めてだし、金額も結構厚さもあったものですから、受け取っちゃいけないお金なんだろうなという感じはしました」

特捜部と広島地検は、実態解明を進めるとみられます。
なお、逮捕後に接見した弁護士によると、河井克行容疑者は「不正な行為はしていません」と主張し、容疑を否認しているということです。

【速報】河井前法相・案里議員を逮捕 「夫婦」「前法相」異例の買収事件

FNN2020年6月18日 木曜 午後5:37

2019年7月の参院選をめぐる買収容疑で、前法相の河井克行容疑者と、妻で参議院議員の案里容疑者を逮捕。

現職の国会議員夫婦による巨額買収容疑に、衝撃が広がっている。国会議員の夫婦。

疑惑に対し、これまで何度も否定し続けていた。
案里容疑者「(買収行為はあったのでしょうか?)まったくありません」

克行容疑者「法にもとるような政治活動は行ってきたことはありません」

しかし、18日、夫婦ともに逮捕された。
夫は、法をつかさどるトップ、前法相・河井克行容疑者。
妻は、現職の参議院議員・河井案里容疑者。

容疑は、公職選挙法違反の買収。
案里容疑者が初当選した、2019年7月の参議院選挙のことだった。

克行容疑者は、案里容疑者を当選させるため、91人に対し、票

の取りまとめなどを依頼。

その報酬として、116回にわたり、あわせておよそ2,400万円を
供与した疑いが持たれている。

さらに案里容疑者も、克行容疑者と共謀のうえ、5人に票の取り
まとめなどを依頼。

報酬として、5回にわたり、あわせて170万円を供与した疑いが
持たれている。

前法相の夫と妻による、前例のない買収事件。

夫婦は、容疑を否認している。

しかし、夫婦の地元・広島での取材で浮かび上がってきたのは、
克行容疑者が買収に関与したことをうかがわせるような複数の
証言だった。

現金提供された地元関係者「(克行容疑者が)なんか知らんけど、
封筒みたいなものを出してきた。選挙するから、いろいろガソリ
ンいるじゃない。(費用の)足しにしてくれと言って」

18日、公職選挙法違反の買収の疑いで逮捕された、前法相・河
井克行容疑者と妻の案里容疑者。

広島・安芸太田町の当時の町長や、複数の県議らは「河井夫妻か
ら現金を受け取った」と証言している。

安芸太田町・小坂真治町長(当時)「河井克行さんご本人が、わが
家をお訪ねになられて、票の数、それを上手に2つに割ることが
できれば、今回の選挙、保守系、自民党議員が2人通る、という
話をされたことを印象に覚えています。帰り際に、これをという
ことで、先ほどの白い封筒を出されて、(後日開けると)20万円
という現金が入っていた」

ある選挙関係者は、克行容疑者が差し出した封筒の受け取りを拒
否すると、「けんかになった」と証言する。

選挙関係者「(克行氏1人で来られた?)そうそうそう。そう言わ
ず(断らず)取っとけと。かなりしつこく5分くらいは大げんか
して。こんなもん持ってくるようじゃ、先生の応援はできんと」
疑惑の舞台となった2019年7月の参議院選挙。

河井夫妻に、何があったのか。

この選挙で、案里容疑者は、初当選を果たした。

この時の出馬について、ある政府関係者は、「案里氏が選挙に出
馬したいと言ってきかず、夫がそれを止められなかった責任も大
きい」と振り返った。

安倍政権へのダメージ必至 河井夫妻を擁護の声なく

FNN2020年6月18日 木曜 午後12:11

河井夫妻の逮捕が迫る中、政界への影響について、国会記者会館
から伝える。

政府関係者は、「2人が逮捕されれば、政権への影響は少なから
ずある」との見方を示している。

夫を法務大臣に起用した安倍首相の任命責任も問われることにな
るとみられる。

2019年の参院選では、安倍首相や菅官房長官が案里議員を全面
支援し、直後の内閣改造では、克行議員が法務大臣に起用される
など、安倍政権は2人に対し、異例ともいえる厚遇をしてきた。
それだけに、2人が逮捕されれば、政権への逆風が強まることは
避けられないという見方が広がっている。

ある政府関係者は、「そもそも、克行氏を大臣にしたことが間違

이었다。案里氏が選挙に出馬したいと言って聞かず、夫がそれ
を止められなかった責任も大きい」と語るなど、2人を擁護する
声は、ほとんど聞かれない。

安倍首相にとっては、野党の追及を受ける国会が17日に閉じた
ばかりだが、捜査の進展次第では、この事件が政権への大きなダ
メージになる可能性もある。

河井克行・案里議員 買収の疑いで逮捕 90人超に2570万円

FNN2020年6月19日 金曜 午前12:28

公職選挙法違反の買収の疑いで河井克行前法相(57)と妻の河井
案里議員(46)を逮捕。

安倍首相も「責任を痛感している」と陳謝した。

18日午後5時前、河井克行容疑者を乗せた車が東京拘置所へ入
っていった。

そして午後5時すぎには、河井案里容疑者を乗せたとみられる
車が東京拘置所の中へ。

議員夫婦からそろって容疑者へ。

18日、公職選挙法違反の買収の疑いで東京地検特捜部などに逮
捕された、前法相の河井克行容疑者と妻で参議院議員の河井案里
容疑者。

克行容疑者は、2019年の参議院選挙で案里容疑者を当選させる
ため、91人に対し、票の取りまとめなどを依頼。

その報酬として、116回にわたり、あわせておよそ2,400万円を
配り、案里容疑者も克行容疑者と共謀し、5人に票の取りまとめ
を依頼。

あわせて170万円を配った疑いが持たれている。

広島県民「この数カ月、何の仕事されたのかしらと思う」、「上
に立つ人がそんなことやっちゃいけないと思います」

関係者延べ96人におよそ2,570万円という、大がかりな買収事
件。

その舞台となった2019年7月の参議院選挙。

案里容疑者は広島選挙区から出馬したが、同じ選挙区にはもう1
人の自民党候補、現職の溝手顕正候補がいた。

この選挙戦で、自民党本部は案里容疑者の陣営に溝手氏の1,500
万円に対して、その10倍にあたる1億5,000万円の選挙資金を
提供。

さらに、案里容疑者の元には次々と大物議員が駆けつけ、結果、
案里容疑者のみが当選した。

夫・克行容疑者はその後、法を司るトップ、法務大臣として初入
閣を果たし、まさに順風満帆と思われた。

しかし翌月、案里容疑者の公設秘書らが、車上運動員たちに法定
上限を超える報酬を支払っていた疑惑が発覚。

後に逮捕、起訴され、16日、1人に有罪判決が言い渡されている。
事件の捜査の過程では、検察当局が河井容疑者らの自宅から、現
金の配布先とみられる100人以上の地元議員のリストを押収し
ていた。

河井案里容疑者(6月9日)「(買収行為はあった?)全くありませ
ん」

これまで疑惑を否定してきた河井夫妻。

逮捕後、克行容疑者は、接見した弁護士に「不正な行為はしてい
ません」と主張していたという。

一方、地元議員らの大半は、これまでの任意の調べに対し、現金をもらったことを認めていて、特捜部などは、その聴取の内容を一部録音・録画している。

現金を提供された地元関係者「(克行容疑者が)なんか知らんけど、封筒みたいなものを出してきた。選挙するから、いろいろガソリンいるじゃない。(費用の)足しにしてくれと言って」

克行容疑者を法相に任命した安倍首相は、18日夜の会見で陳謝した。

安倍首相「わが党所属であった現職国会議員が逮捕されたことについては、大変遺憾であります。かつて法務大臣を任命した者として、その責任を痛感しております。国民の皆さまに深くおわび申し上げます」

選挙の公平性を大きくゆがめる買収行為。

自民党の二階幹事長は、案里陣営に提供された1億5,000万円の選挙資金について、「支部の立ち上げにともなう党勢拡大のための広報紙を複数回、全県に配布した費用に充てられたというふうに報告を受けている」と述べた。

今後の捜査次第では、河井容疑者夫妻のみならず、政権へのダメージにもつながる可能性がある。

空前の買収事件のポイント 河井夫妻 自ら2570万円を...

国内

FNN2020年6月18日 木曜 午後6:14

2019年7月の参院選をめぐる買収容疑で、前法相の河井克行容疑者と、妻で参議院議員の案里容疑者を逮捕。

現職の国会議員夫婦による巨額買収容疑に、衝撃が広がっている。この事件について、フジテレビ社会部・平松秀敏デスクとお伝えする。

加藤綾子キャスター「前法務大臣夫妻が逮捕される異例の買収事件なんですが、平松デスクはどのような点に特殊性を感じますか?」

平松秀敏デスク「まず、こんな事件聞いたことないんです。逮捕されたのが現職の国会議員で、夫婦で、しかも夫は、この間まで法務大臣だった人ですよ。そして、逮捕容疑というのが、選挙違反の中でも、かなり悪質な買収行為なんです。なぜ悪質かという、票をお金で買うような行為だったんですね。さらには、事件規模なんです。これ、かなり大きいんですよ。要は、お金を受け取った側の人間が100人近くいる。しかも、ばらまいた額が、2,500万円を超えている。受け取った側も、立件される可能性がまったくないわけではないですから、そうすると、先ほどあったように、前代未聞の事件と言っていいと思います」

事件の背景について、大規模な買収事件の舞台となったのは、2019年7月の参院選の広島選挙区。

定数は、「2」。

地元の自民党広島県連は、当時現職、当選5回を誇る、溝手顕正候補を支持することで固まっていた。

ところが、自民党本部では、定数2の独占を狙うとして、県連の反対を押し切り、当時広島の県議会議員だった、河井案里容疑者を追加公認した。

案里容疑者の夫は、河井克行容疑者。

安倍首相の「側近」ともいわれて、法相にも起用された人物。党の本部から河井陣営に渡った選挙資金は、溝手陣営の10倍にあたる1億5,000万円で、案里容疑者に対して、官邸や党本部が

全面的に支援する構図となり、自民党、そしてその支援者の間で票を奪い合う形となった結果、案里容疑者は当選。

そして、圧勝が予想されていたはずの溝手候補は落選した。

加藤キャスター「事件の経緯を見ていきますと、最初はウグイス嬢への違法な報酬をめぐる事件だったわけですよね。この時から、すでに検察側は、こんな大規模な買収事件に発展するという視野にはあったんでしょうか?」

平松デスク「これは視野には入ってなかったんです。そもそも、現職の国会議員の夫婦が、直接お金をばらまいて配って回るなんて、普通考えられないです。ところが、捜査に着手したら、関係先から配布先リストが出てきて、これは大変な事件だということで、大規模な捜査態勢を敷いたということなんです」

加藤キャスター「最初から、本当は克行容疑者の方に目をつけてたことはないんですか?」

平松デスク「その可能性は全くはないんですけど、この手の事件で一番難しいのは、当選した本人を立件できるかどうかのポイントになってくるので、となると、案里容疑者をいかにして立件するかというのが、かなり難しいポイントだったと思うんですね」

加藤キャスター「捜査自体は、順調に進んでいったんでしょうか?」

平松デスク「それが、そういうわけにはいかないんですよ。着手したのが、ことし1月。その後、新型コロナウイルスの影響もありましたよね。さらには、検察庁法改正の問題もあって、あとは東京高検検事長の賭けマージャンもあつたりと、この半年間は、逆風の中の捜査だったと思うんですね。そうすると、なんとかこの逮捕までつなげたというのが、実際の状況ではないかと思うんですね」

加藤キャスター「ここまでを振り返ってみても、なんで法務大臣たる人が、こんな大胆なというか、わかりやすいことをするのかなという疑問が生まれてきますよね」

平松デスク「この事件の構図というのは、本当に50年前、40年前の選挙違反と同じ構図なんです。それをよもや、令和の時代に行われているというのがビックリなので、だからこそ、東京から東京地検特捜部の検事まで投入して、徹底的にやらなきゃという体制になったんだと思うんですよ」

加藤キャスター「今後の捜査のポイントは?」

平松デスク「『渡した金の趣旨が、どういうものだったのか』というところがポイントになりますね。これまでのわたしたちの取材でも、河井夫妻側は、現金を、例えば陣中見舞いだとか、ガソリン代、要は寄付として渡していたという話が出ているんですね。おそらく、この2人も、そういう主張をしてくると思うんです。仮に寄付だとしたら、買収にはあたらないんです。ということは、特捜部は、このお金がいかに寄付じゃない、要は、自分が選挙で受かるための金だ。票の取りまとめの依頼のための金だというのを、いかにしっかりと証明していくということが必要になってくる。そこがポイントだ」と

加藤キャスター「お金の意味合いを立証することって、難しいことじゃないですか?」

平松デスク「そうですね。『お金には色がついてない』と昔から言いますから。そうすると、例えば受け取った側の県議から、いかにしっかりとした供述を得られるのか、だからこそ、録音・録画までしっかりとするといいと思うんですね」

加藤キャスター「風間さん、今回の事件ですが、今後の安倍首相の政権運営にも影響出てきますよね?」

フジテレビ・風間晋解説委員「もちろんですよ。野党が、総理の任命責任とか説明責任を追及してくるのは当然ですよ。加えて、自民党内の批判とか難反というのはどうなるのかということですよ。案里議員の公認ごり押し、それから1億5,000万円の投入というのは、そもそも納得できるようなやり方じゃないわけですよ。自民党議員にとって、総理任期とか総裁任期とか、あるいは総選挙のタイミングというの、意識せざるを得ないような時期になってきていますから、政権運営は本当に難しくなると思います」

加藤キャスター「柳澤さん、この事件どうぞ覧になりますか?」
ジャーナリスト・柳澤秀夫氏「本当に平松さんがおっしゃっている通り、ありえないというか、ひと昔前の話だなと思うんですよ。これまで、何度となく、『政治とカネ』といわれてきたのに、この実態というのは、本当に政治を甘く見てるというか、政治がいったい何なのかというのを、あらためてわれわれに突きつけてると思うんですよ。政治不信につながると思います」

河井夫妻逮捕 今後の捜査焦点は

NHK2020年6月18日16時42分



前の法務大臣の河井克行容疑者(57)と、妻で参議院議員の河井案里容疑者(46)が逮捕された選挙違反事件について、今後の捜査の焦点の1つは、100人近い地元議員や後援会幹部などに配られたとされる現金の趣旨の解明です。

票の取りまとめを依頼する趣旨かどうか

現金の配布は河井案里議員が参議院選挙への立候補を表明したあとの去年3月以降に行われた疑いがあり、NHKの取材に対し、複数の地方議員が「選挙の公示前に河井前大臣から『案里議員をお願いします』と言われた」と話したり、「違法な金だと思っていた」などと証言しています。

一方、去年4月に行われた広島県議会議員選挙などの統一地方選挙の前後に現金が配られたケースも多く、検察の事情聴取に対し「陣中見舞い」や「当選祝い」として渡されたとか、「後日、返金した」などと説明している議員もいるということです。

公職選挙法は、選挙区内の有権者に票の取りまとめを依頼する趣旨で金品を渡す行為を禁じていて、今後の捜査では一連の現金提供が案里議員の選挙で票の取りまとめを依頼する目的だったことを立証する必要があります。

元検事などの専門家は、現金授受の際に河井前大臣から漠然とでも「妻をよろしく」などの文言があったかどうかや、過去の地方選挙では「陣中見舞い」や「当選祝い」を渡されたケースがなく、今回の現金提供が票の取りまとめを依頼する趣旨だったと言えるかどうか捜査のポイントになると指摘しています。

「買収リスト」の信ぴょう性は

また、河井夫妻の自宅からは現金の配布先とみられる100人以上の名前と金額が記載された複数のリストが押収され、事務所に

ある河井前大臣のパソコンで管理されていましたが、リストが作成された経緯や信ぴょう性の解明も今後の焦点です。

買収の原資 自民党本部から1億5000万円との関係は
そして、現金買収に使われたとされる多額の現金の原資の解明も今後の捜査の焦点です。

関係者によりますと、河井前大臣らは現金の提供先のほとんどから領収書を受け取っておらず、一連の資金提供は案里議員の去年の参議院選挙の選挙運動費用収支報告書などには記載していないとみられます。

一方、去年の参議院選挙の前には自民党本部から河井夫妻が代表を務める2つの政党支部に合わせて1億5000万円が振り込まれました。

その額は、当時の現職で保守分裂の選挙を戦った溝手頭正氏の10倍だったことが明らかになっていますが、案里議員はことし1月、「政治資金収支報告書にしっかりと記載し、報告することになっているので、違法性はないと考えている」と述べています。この1億5000万円と今回の事件との関係性は分かっておらず、多額の買収資金をどのように捻出したのかも捜査の焦点になります。

河井克行前法務大臣 実質的に選挙仕切るLINEで細かく指示

NHK2020年6月18日16時22分



河井案里参議院議員の陣営による選挙違反事件で、東京地検特捜部は夫の河井克行前法務大臣と案里議員を公職選挙法違反の買収の疑いで逮捕しました。陣営の関係者によりますと、河井克行前法務大臣は、参議院選挙の運動方針などについてLINEを通じて陣営関係者と頻りに連絡をとり、「あらいぐま」というハンドルネームで細かく指示していたということです。

LINEでの指示は50回前後

このうち、告示前の去年6月17日のLINEの画像では、陣営幹部のグループに対し、「党本部街宣車などの大まかな走行経路、距離、反応・気付きにつき、毎日報告書を提出させて下さい。福山事務所、呉事務所分も毎日。過去に遡り提出を」というメッセージを送り、県内の各事務所に対し、支持の呼びかけに対する有権者の反応などを毎日報告するよう求めていました。

また、投票日の5日前の去年7月16日の画像では「ギリギリの戦いを滑り込めるかがかかっている重要な作戦、2つをお願いします」とメッセージを送っています。

この中では、期日前投票の呼びかけが足りないとして、ウグイス嬢や事務所スタッフなどに呼びかけの徹底を求めたほか、「選挙カーでの電話作戦を開始する」として、選挙カーに乗った候補者がマイクを握っている合間に同行するスタッフが名簿を見て電話をかけ、相手が出れば候補者に携帯電話を手渡して支援を呼びかける活動を指示をしています。

河井前大臣からのLINEの指示は、1日50回前後に及んだということで、陣営関係者は「選挙の実質的な責任者は河井前大臣で、選挙資金についてもすべて把握していた」と話しています。

参院選で案里議員の陣営を実質的に仕切ったのは複数の陣営関係者によりますと、去年7月の参議院選挙で、河井案里議員の陣営には、陣営を取りしきる選挙対策本部長のポストはなく、夫の河井克行前法務大臣が実質的に仕切っていたということです。

河井前大臣の指示で、県内3か所に選挙事務所などが設けられ、支援する県議らが事務所の運営に関わっていました。

企業や団体への支援の呼びかけは、地元の県議や市議などが河井前大臣と連絡をとりながら、それぞれの支持者や団体に行っていたということです。

支援した県議や市議は、案里議員が自民党の公認候補に決まった去年3月以降、自宅などで案里議員や河井前大臣の訪問を受けていたということで、NHKのこれまでの取材では、少なくとも10人を超える議員が現金を渡されたと話しています。

また、公示前に行われた選挙対策会議では、河井前大臣が活動の方法などについて細かく指示し、秘書たちはこうした指示のもと、企業や団体にポスターを配るなど支援を呼びかけました。

そのときの様子や反応は、業務日誌に記載し、河井前大臣に逐一報告するよう求められたということです。

陣営の関係者の1人は「河井前大臣が陣営の活動方針を決め、資金の流れも把握するなど実質的な責任者だった」と話しています。

「克行氏から30万円渡された」広島県内の地方議員
広島県内の地方議員は、NHKの取材に対し、去年の春、河井克行前法務大臣から現金30万円が入った封筒を渡され、その後返却したと明らかにしました。

この時の状況について、この議員は「去年の統一地方選挙の期間中、河井克行前大臣が白い封筒を事務所に持ってきた。私は不在で会わなかったが、封筒には現金30万円が入っていた。選挙中だったので陣中見舞いだらうと思った」と説明しました。

そのうえで「この時の近くに参議院選挙があったので、その件で頼まれるだろうと感じ、後日、返しにいった。選挙は応援しないよという意思表示です」と述べました。

この議員は、去年の参議院選挙で、河井案里議員ではなく、同じ自民党から立候補し当時の現職だった溝手顕正氏を応援したということです。

河井議員は当選した一方溝手氏は落選したことから、この議員は当時、党本部から両陣営に振り込まれた資金について、「選挙が終わっていろいろ話を聞くと、河井陣営の資金は1億5000万円だったのに、溝手陣営は1500万円で、河井さんが勝つ理由はこういうことかと感じた」と述べました。

また、河井夫妻に対しては「いろいろな人が巻き込まれて、関係ない人にとっては迷惑な話だと思う。早い機会に有権者に説明すべきだ」と述べました。

河井前法相・案里議員逮捕 広島政界に影響広がる

NHK2020年6月18日 18時38分



河井案里議員の陣営をめぐる選挙違反事件では、河井克行前法務

大臣から現金を受け取ったと明らかにした広島県の安芸太田町の町長が辞職したほか、県議会の自民党系会派の控え室が検察の捜索を受けるなど、地元政界にも影響が広がりました。

安芸太田町の小坂真治前町長は去年4月、自宅で河井前大臣から現金20万円を受け取り、検察の任意の事情聴取を受けたことを認め、道義的責任を取るとしてことし4月に辞職しました。

小坂前町長によりますと、河井前大臣は、「保守系の票を分けることができれば、自民党の2人が当選できる」などと話をしたあと、帰り際に現金が入った白い封筒を渡してきたということです。また、大竹市の入山欣郎市長は、検察の任意の聴取を受けたと認めたとうえで、「河井前大臣が現金が入ったとみられる封筒を持ってきたが、突き返して叱責した」と述べています。

さらに、検察は陣営の資金が買収に使われた公職選挙法違反の疑いがあるとして、複数の県議会議員などの事務所や自宅を捜索したほか、ことし4月には、県議会の自民党系会派の複数の控え室を捜索しました。

控え室の捜索を受けた1人、桧山俊宏議員は、県議会議長も務めた地元政界の実力者で、報道陣に対し「河井議員夫妻からの金銭の授受は一切ない」と話していました。

県議会の控え室に捜索が入ったことについて、中本隆志議長は「県政史上、県議会に検察の捜索が入ったことはなく前代未聞の話で遺憾だ」と述べました。

また、湯崎知事は「できるだけ早期に全面的な事実の解明を期待したい。そのためにも関係者が必要な説明責任を果たしてもらいたい」と話していました。

「説明責任果たしてない」地元有権者から怒り

地元・広島県の有権者からは怒りの声が相次ぎました。

20代の男性は「県民として恥ずかしいし、みっともないです。2人とも議員を辞めるべきだし、反省して自分たちの行動を見つめ直してほしい」と話していました。

50代の男性は「新型コロナウイルスで世の中が大変なときに、いちばん引っ張っていくべき立場の国会議員が逮捕されるのはとても残念です」と話していました。

また、河井夫婦が今回の容疑について、説明責任を果たしていないという声も多く聞かれました。

70代の女性は「案里議員は、県議会議員時代に当時の知事への質問で『説明責任を果たして』と話していた。夫婦とも誰が聞いても納得できる説明をするのが当たり前だと思う」と話していました。

80代の女性は「疑惑に関する説明がないまま逮捕され、本当に無責任だと思う」と話していました。

「党本部に大きな責任」自民党広島県連副会長

去年の参議院選挙で河井案里氏に敗れた溝手顕正氏を支援した、自民党広島県連の副会長の中本隆志県議会議長は記者団の取材に対し、「県選出の国会議員の逮捕は、残念であり、2人には強い憤りを感じる。県政をこれだけの混乱におとしめたのは前代未聞で、まずは議員を辞めたほうがいい」と述べました。

そのうえで、「去年の夏の参議院選挙で、地元の県連の要請を無視して案里氏を擁立した自民党本部にも多大な責任があり、引き続き説明を強く求めるべきだ」と述べました。

野党、予算委開催を要求 「説明せず逮捕は残念」

産経新聞 2020. 6. 18 17:48

野党は18日、前法相の河井克行容疑者と妻の参院議員、案里容疑者の逮捕を受け、安倍晋三首相に説明を求め、予算委員会集中審議の開催を要求した。立憲民主党の安住淳国対委員長は記者団に「夫妻が一切説明責任を果たすことなく、逮捕されたことは大変残念だ」と述べた。

同時に「首相は逮捕されるような人をなぜ法相に起用したのか。自民党総裁として、1億5千万円を渡した経緯も説明する責任がある」と強調した。

「首相の責任は極めて重大」 共産・小池書記局長が批判

産経新聞 2020. 6. 18 17:12

共産党の小池晃書記局長は18日の記者会見で、昨年7月の参院選をめぐる、参院議員の河井案里、夫で前法相の克行両容疑者＝いずれも自民党離党＝が公職選挙法違反（買収）容疑で逮捕されたことについて、「ただちに議員辞職をすべきだ。両氏はもちろん、安倍晋三首相、自民党総裁の責任も極めて重大だ」と批判した。

小池氏は、参院選で首相や菅義偉（すが・よしひで）官房長官が案里容疑者の応援のために現地入りしたことや、公示前に自民党本部から計1億5000万円が陣営に送金されたことなどを問題視。「なぜ特定の候補にこれだけの資金援助、支援をしたのか。政府も自民党も納得のいく説明をすべきだ」と訴えた。

また、「なぜこういう人物を法相にしたのか」と首相の任命責任にも触れたうえで、「真相解明の場を国会で設けることを強く求めたい」として、首相が出席する衆院予算委員会の集中審議開催を迫った。

立民の枝野氏、首相の退陣要求 河井前法相の任命責任を迫及

2020/6/18 18:16 (JST)6/18 20:05 (JST)updated 共同通信社



立憲民主党・枝野代表

立憲民主党の枝野幸男代表は18日、前法相の河井克行容疑者と妻の参院議員案里容疑者の逮捕を受け、昨年9月の内閣改造で法相に起用した安倍晋三首相に責任があるとして退陣を求めた。国会内で記者団に「逮捕されるような行動を取っていた人を法相に任命した首相の見識が問われる。退陣表明でもしてもらいたい」と述べた。

国民民主党の玉木雄一郎代表は記者団に「夫婦そろって現職議員が逮捕されるのは憲政史上に残る汚点だ。辞職しないのなら、速やかに議員辞職勧告決議案を提出したい」と表明。立民の安住淳国対委員長も「長期政権のおごり、緩みだ。お金に対して汚くなっている」と批判した。

立民・枝野代表、首相退陣を要求 前法相の任命責任迫及

産経新聞 2020. 6. 18 20:04

立憲民主党の枝野幸男代表は18日、前法相の河井克行容疑者と妻の参院議員案里容疑者の逮捕を受け、昨年9月の内閣改造で

法相に起用した安倍晋三首相に責任があるとして退陣を求めた。国会内で記者団に「逮捕されるような行動を取っていた人を法相に任命した首相の見識が問われる。退陣表明でもしてもらいたい」と述べた。

国民民主党の玉木雄一郎代表は記者団に「夫婦そろって現職議員が逮捕されるのは憲政史上に残る汚点だ。辞職しないのなら、速やかに議員辞職勧告決議案を提出したい」と表明。立民の安住淳国対委員長も「長期政権のおごり、緩みだ。お金に対して汚くなっている」と批判した。

共産党の小池晃書記局長は「かつてない規模の買収容疑であり、直ちに議員辞職すべきだ」と主張。日本維新の会の馬場伸幸幹事長も「金権選挙がまだに行われているとは言語道断だ」と非難し、根絶を訴えた。社民党の吉田忠智幹事長は談話で「政治不信を招いた河井夫妻はもとより、自民党、首相の責任は重大だ」と指摘した。

菅氏、河井夫妻に「自らが説明すべき」

産経新聞 2020. 6. 18 12:37

菅義偉官房長官は18日午前の記者会見で、検察当局が昨年7月の参院選をめぐる公選法違反容疑で前法相の河井克行衆院議員と妻の案里参院議員（いずれも自民党離党）を逮捕する方針を固めたことに関し「政治家たる者、自らの行動について自らが説明すべきだというのが基本だ」と語った。

菅氏は参院選に自民党公認で出馬し初当選した案里氏の応援のため広島入りしていたが、「(党の)重点区を中心に応援に行っていた」と説明。参院選で案里氏の陣営に選挙費用として支出された党費1億5千万円の決定のプロセスにかかわっていたかどうかを問われると、「承知していない」と述べた。

自民・二階幹事長「厳粛に受け止める」 河井夫妻逮捕で

産経新聞 2020. 6. 18 19:07

自民党の二階俊博幹事長は18日、前法相で衆院議員の河井克行、妻で参院議員の案里両容疑者（いずれも自民党離党）が東京地検特捜部に公職選挙法違反の疑いで逮捕されたことについて「大変残念なことでありますが、厳粛に受け止めたいと思います。本件は、現在捜査中のことであり、今後の捜査の推移を見守りたいと思います」とのコメントを発表した。

自民・岸田政調会長「誠に残念で遺憾」 河井夫妻逮捕で

産経新聞 2020. 6. 18 19:04

自民党の岸田文雄政調会長は18日、前法相で衆院議員の河井克行、妻で参院議員の案里両容疑者の逮捕について「離党したとはいえ自民党に所属し、なおかつ（同じ地元の）広島から選出された国会議員が逮捕されたことは誠に残念で遺憾だ」と述べた。

「改めて政治、自民党の信頼回復のために努力をしなければいけないと強く感じている。裁判などを通じてしっかりと国民への説明責任を果たしていくことは大事だ」とも語った。党本部で記者団に答えた。

票を金で買う行為「民主主義の否定だ」 自民・石破元幹事長

産経新聞 2020. 6. 18 17:04

自民党の石破茂元幹事長は18日、前法相で衆院議員の河井克行、妻で参院議員の案里両容疑者が東京地検特捜部に公職選挙法違反（買収）の容疑で逮捕されたことについて「わが党の候補者が、票を金で買うという民主主義の否定に等しい行為だ。党の在り方を問い直さないと、国民から厳しい判断を受けることになる」と語った。国会内で記者団の取材に語った。

河井夫妻逮捕「政治の信頼性損なわれる」 自民・鈴木総務会長 産経新聞 2020.6.18 15:39

自民党の鈴木俊一総務会長は18日、自民党を離党した前法相で衆院議員の河井克行、妻で参院議員の案里両容疑者が東京地検特捜部に公職選挙法違反（買収）の疑いで逮捕されたことについて「政治に対する信頼性が損なわれる。非常に遺憾だ。信頼を取り戻すために、しっかりやっていくしかない」と述べた。産経新聞の取材に答えた。

鈴木氏は「日本の司法は非常に公正だ。そこできちんと司法判断がこれからされると思うので、それを見守りたい」とも語った

河井夫妻「容疑が真実なら議員辞職に値」 公明・斉藤幹事長 産経新聞 2020.6.18 17:58

公明党の斉藤鉄夫幹事長は18日、前法相で衆院議員の河井克行、妻で参院議員の案里両容疑者（いずれも自民党離党）が東京地検特捜部に公職選挙法違反の疑いで逮捕されたことに関し「容疑が真実であれば国民の政治不信を招いたという観点から許されざることであり、議員辞職に値する」と断じた。国会内で記者団に答えた。

斉藤氏は「もっと早くから説明責任を果たすべきだった」と批判。「与党や政権にとって大きな打撃になっている」と語った。

克行容疑者を法相に起用した安倍晋三首相の任命責任はあるとした上で「政治不信を取り払うべく全力を挙げていただきたい」と求めた。

河井「てっぺん目指す」 野心家の河井案里容疑者、気の弱さも …

産経新聞 2020.6.18 19:20

「演技力はあったが、感情が先行し、『女優』になりきれなかった」。公選法違反（買収）の疑いで、東京地検特捜部に逮捕された参院議員、河井案里容疑者（46）について、元秘書はこう評する。

科学技術振興事業団（現・科学技術振興機構）などでの勤務を経て、夫で衆院議員の克行容疑者（57）の勧めもあり、県議会議員としてのキャリアを歩み始めた。平成21年の広島県知事選にも出馬するなど、早くから野心家の一面をみせていた。「どうせやるなら、てっぺんを目指さないとね」。参院選で初当選すると、元秘書らに対し、「女性首相」を意識した発言もした。

昨年の参院選期間中、女性中心の集会では意図的に涙を流した。雨が降った日にこそ、「他の候補が動かないから効果的だ」と、びしょぬれになりながら声をからした。陣営関係者は、「とにかく負けられないと、がむしゃらで人をひきつけるものはあった」と振り返る。

一方で、「気持ちが弱く、安定しなかった」（元秘書）。公示前

には食べ物がのどを通らなくなり、選挙期間中は批判が書き込まれていないか、会員制交流サイト（SNS）で自身の名前を検索し続けていたという。

県内自民党で「孤立」する克行容疑者の影響で、陣営には誹謗（ひぼう）中傷のようなメッセージも多かった。それでも「戦う姿勢を尊敬している」と周囲に話し、突き放すことはなかったという。

県議時代の同期議員らを中心に現金を持参した疑いがもたれている。「当選したいという感情が先行してしまい、脇の甘さが露呈した」と元秘書は肩を落とした。

「完璧主義、金に細かい」 河井克行容疑者、集票は常に苦慮 産経新聞 2020.6.18 19:52

「細部までこだわる完璧主義者。金が絡むと特に口うるさかった」。公選法違反（買収）の疑いで逮捕された前法相で衆院議員、河井克行容疑者（57）について、周囲から聞こえてくるのは「金に細かい」というイメージだ。出勤中の車内では、政党支部の収支などあらゆる資料に目を通すことが日課だったという。

大学卒業後、松下政経塾などを経て、平成3年の県議会選挙で政治家としてのキャリアをスタートさせた。5年に初挑戦した衆院選旧広島1区では落選。小選挙区制となった8年の衆院選では広島3区で初当選を果たしたが、12年の選挙では再び涙をのんだ。

妻の案里容疑者（46）にも「集票能力がない」と指摘されるほど選挙では苦戦した。そのため、こまめに地元に戻っては地域の行事などに参加し顔を売ってきたという。

その一方で、官邸中枢からの評価は高い。19年8月から約1年間、法務副大臣も務めた。法務省OBによると、法相の秘書官には若手検事、副大臣には検事以外の職員が就くのが通例。だが「なぜ自分の秘書が検事ではないのか」と主張し、検事が充てられた。

法相に就任した昨年秋、大型台風で広島行き航空便が欠航となった際は、地元の小さな祭りに参加するため、都内で移動手段を探し続けたという。秘書らは「大臣としての仕事を優先すべきでは」と疑問を呈するほどだったが、違法報酬疑惑が発覚したことで、わずか2カ月弱で法相を辞任した。

前法相夫妻を逮捕 参院選巡り買収の疑い 検察当局、94人に2570万円

中国新新聞 2020/6/19



河井克行容疑者（左）と案里容疑者（17日）

昨年7月の参院選広島選挙区で広島県内の地方議員や首長ら94人に投票や票の取りまとめを依頼し、計約2570万円の報酬を渡したとして、検察当局は18日、前法相で衆院議員の河井克行容疑者（57）＝衆院広島3区＝と、広島選挙区で初当選した妻の案里容疑者（46）をそれぞれ公選法違反（買収）の疑いで逮捕した。案里容疑者の陣営を巡る公選法違反事件は、元閣僚と参院議員の現職国会議員2人が逮捕される事態となり、地元政

界を巻き込んだ大規模買収事件に発展した。

▽政権への打撃必至

克行容疑者は安倍晋三首相ら官邸中枢に近いとされ、参院選では自民党本部が案里容疑者の擁立を主導し、1億5千万円の資金を提供した。首相を含む大物も来援するなど強力に支援した経緯があり、安倍政権への打撃は必至。検察当局は、克行容疑者が陣営の実質的な責任者だったとみて資金の流れを捜査する。克行容疑者を法相に任命した首相の責任も問われる。

検察当局は同日、東京・永田町の議員会館や両容疑者の議員宿舎を家宅捜索した。

逮捕容疑は、昨年7月21日投票の参院選に立つ案里容疑者を当選させるため、克行容疑者が同3月下旬～同8月上旬ごろ、91人に票の取りまとめなどを依頼し、報酬として116回にわたり計約2400万円を渡した疑い。さらに両容疑者が共謀して同3月下旬～同6月中旬ごろ、5人に計170万円を渡した疑い。検察当局は両容疑者の認否は明らかにしていない。逮捕後に接見した克行容疑者の弁護士は報道陣に「不正な行為はしていませんというのが本人の主張」と話した。

被買収者は2人が重複するため、実質は94人という。検察当局は人数以外は明らかにしていないが、捜査関係者によると、選挙区である広島県内の県議や市議、首長、後援会幹部のほか、公選法が原則無報酬と定める陣営関係者らが含まれる。1人当たりの金額は30万～50万円が多いが、100万円超を渡された人もいるという。

案里容疑者は昨年3月13日、自民党が広島選挙区の公認候補に決定した。検察当局は、案里容疑者が現職2人に挑む激戦が見込まれる中、各地に支持基盤を持つ地方議員らに票の取りまとめなどを期待して現金を渡したとみている。参院選では、競合した自民党現職の溝手顕正氏が落選した。

案里容疑者の陣営を巡っては、車上運動員に法定を超える報酬を払ったとして広島地検が今年3月に案里容疑者の公設第2秘書らを起訴。連座制の適用対象として「百日裁判」を申請し、広島地裁は今年1月6日、懲役1年6月、執行猶予5年を言い渡した。懲役刑を含む禁錮刑以上の有罪判決が確定すると、広島高検が30日以内に案里容疑者の当選無効などを求めて広島高裁に提訴し、検察側の勝訴が確定すれば失職となる。

関係者によると、この事件の捜査で広島地検が今年1月に両容疑者の自宅を家宅捜索した際、現金配布先とみられる100人以上のリストを押収。東京地検も加わり、議員や首長らの聴取や関係先の家宅捜索を進めてきた。

両容疑者は今年1月7日に自民党を離党。買収疑惑についての説明はしなかった。党側には議員辞職はしない意向を伝えているという。

かわい・かつゆき 広島県議を経て、1996年の衆院選広島3区で初当選し現在7期目。首相補佐官などを歴任し、昨年9月に法相として初入閣したが、案里容疑者の陣営の公選法違反疑惑が発覚して翌月に辞任した。広島市安佐南区出身。慶応大法学部卒。

かわい・あんり 2003年に広島県議選広島市安佐南区選挙区で初当選。2期目途中の09年の知事選に立候補し、落選した。11年に県議に復帰後、19年7月の参院選広島選挙区で初当選

した。宮崎市出身。慶応大大学院政策・メディア研究科修士課程修了。

【激震 河井前法相夫妻逮捕】絶頂一転、瀬戸際に 権力バックに慢心か

中国新聞 2020/6/19



昨年7月の参院選広島選挙区を巡る公選法違反事件で、18日に検察当局に逮捕された河井克行容疑者(57)＝衆院広島3区＝は、自民党で当選7回を重ね、その時々の実力者の後ろ盾を取り付けながら、永田町の階段を駆け上ってきた。広島県議として地盤を支えた妻の案里容疑者(46)＝参院広島＝は、政権与党の全面支援で国政進出を果たした。参院選をステップにした「絶頂」はつかの間に終わり、夫妻は連れだって政治家人生の瀬戸際に立つ。

2人は18日、一連の買収疑惑を最後まで説明することなく検察当局に身柄を拘束され、東京拘置所に移送された。有権者に笑顔で駆け寄り、時に雄弁に国家を論じてきた姿はなかった。

「日本を、広島を良くしたいとの思いで走り続けてきた」。昨年9月下旬、克行容疑者は広島市中区のホテルで開いた政治資金パーティーで、自らの政治家人生をこう振り返った。

2週間前の内閣改造で、要職の一つである法相として初入閣を果たしたばかり。そばには参院議員となった妻がいた。「私は政治家の家に生まれ育ったわけでもないし、高級官僚の出身でもない。多くの皆さまに支えていただいたからこそ、今日がある」

克行容疑者は松下政経塾で学んだ後、1991年4月に28歳で広島県議に初当選した。中国地方の県議では当時最年少。ジョギング姿など型破りな選挙戦を展開し、浮動票をつかんだ。

▽地盤や人脈なし

「行動力」は政治家としての強みだった。近年、県内で相次いだ土砂災害の被災者からは、国からの復興予算の獲得に尽くしてくれたとの評が聞こえる。「地盤も人脈も全くないのに、ガッツで成り上がった」。かつての秘書は言う。

中央政界では「権力者」に近づく嗅覚にもたけていた。2001年に案里容疑者と結婚した時の仲人は、元首相の故橋本龍太郎氏。橋本氏が率いる派閥に属し、閣僚経験者の鈴木宗男参院議員、元総務相の故嶋山邦夫氏たちにもかわいがられた。

派閥に見切りをつけた後、距離を縮めたのが安倍晋三首相や菅義偉官房長官だった。英語に堪能として首相補佐官や自民党総裁外交特別補佐で重用された。

中央政界で地歩を固めて迎えた昨年の参院選。安倍首相や菅官房長官の応援を得て案里氏を初当選させた。公示前には党本部から1億5千万円の巨費の提供も受けた。陣営関係者は、総額約2570万円に上る今回の買収容疑の背景に『バックには権力者がいるから大丈夫』との慢心があったはずだ」と言い切る。

▽「人の心離れた」

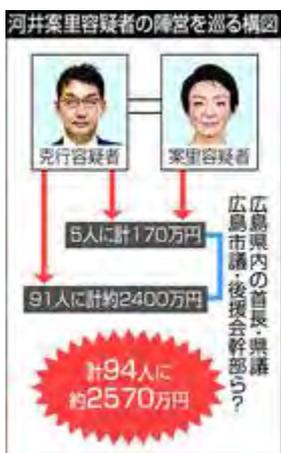
権力志向は案里容疑者にもみられた。09年の広島県知事選で敗れた後、支援を受けた亀井静香元金融担当相が率いる国民新党の公認で、10年の参院選に挑戦する構えをみせた。自民党で県議に復帰した後の12年には、大阪市の橋下徹市長が率いる「大阪維新の会」の政治塾を受講している。

国政初挑戦となった昨年7月の参院選では、安倍首相や自民党の二階俊博幹事長たち大物の度重なる来援を周囲に誇示した。一方で地道な運動も重ねた。自民党県連のある幹部は、なりふり構われないがむしゃらさを評価し「地域を細かく歩く姿勢だけは他の議員に見習ってほしい」と言う。

党県連の主流派に距離を置かれるなど、毀誉褒貶（きよほうへん）が常につきまとった政治家夫婦。「権力者にはおもんねるが、身近なスタッフを大事にしなかった」と、克行容疑者の秘書経験者の1人は語る。「結果として人の心が離れ、今回もかばう者は誰もいない。自業自得の悲しい政治家人生だ」（樋口浩二、高本友子）

激戦暗部、本丸にメス 現金配布リスト押収、潮目

中国新聞 2020/6/19



昨年7月の参院選広島選挙区を巡る公選法違反事件は18日、初当選を果たした河井案里容疑者（46）とともに、検察が「本丸」とする前法相の夫克行容疑者（57）＝衆院広島3区＝が逮捕される事態に至った。案里容疑者を当選させる目的で選挙区内の94人に計約2570万円を配ったとされ、検察幹部からは「過去に例がない悪質な買収事件」との声も漏れる。激戦だった参院選の暗部に捜査のメスが入った。

「被疑者2人を逮捕した」。この日午後、記者会見を開いた広島地検の横井朗次席検事は淡々と発表文を読み上げた。現金を渡した相手については人数以外は明らかにせず、30分ほどで会見を終えた。

▽聴取積み重ねる

関係者によると、現金の配布先には選挙区である広島県内の県議や市議が含まれる。統一地方選で県議選や市議選があった昨年

3、4月に克行容疑者が事務所や自宅を訪れ、「陣中見舞い」や「当選祝い」として30万～50万円が入った封筒を置いて帰るケースが多かった。

案里容疑者は当時、参院選の自民党公認候補に決定。党県連の主流派が推す岸田派重鎮の現職溝手顕正氏と、国民民主党などの支援を受ける無所属現職の森本真治氏を相手に2議席を争う激戦が予想されていた。

現金を渡された県議らは地検の任意聴取に「（案里容疑者の）選挙を応援してほしいという趣旨の金だと思った」などと供述。県議や市議の聴取を重ねた検察当局は、地元で支持者を持つ県議らに票の取りまとめを依頼し、報酬として現金を配ったとみて、夫妻の逮捕に踏み切った。

案里容疑者の陣営を巡る疑惑の発端は7カ月前にさかのぼる。昨年10月末、選挙カーから支持を呼び掛ける車上運動員に法定上限の2倍の報酬を払ったと週刊文春が報道し、広島地検が同年12月に捜査に着手した。関係者によると、陣営を実質的に仕切っていたのは克行容疑者だったため、捜査の行方に注目が集まったが、「秘書止まりになるのでは」との見方も多かった。

▽捜査態勢を拡充

「潮目が変わった」（捜査関係者）のは今年1月。車上運動員の違法報酬事件で広島地検が広島市内にある両容疑者の自宅を家宅捜索した際、現金の配布先とみられる約100人のリストを押収してからだった。

検察当局は東京地検特捜部や大阪地検から捜査員を投入して捜査態勢を拡充。リストを基に関係者の一斉聴取を進めた。聴取を受けた広島市議は「検察は（克行容疑者が）現金を持ってきた日や金額を把握していた」と振り返る。

リストには地方議員のほか、首長や後援会幹部らの名前もあった。その大半が地検の聴取に両容疑者が現金を持参してきたことを認めたという。否認する議員らに対しては家宅捜索をして証拠を集め、買収額を積み上げた。「これほどまでの買収は憲政史上例がない」。検察幹部の一人は驚きを隠さない。

案里容疑者は首相官邸や自民党本部の主導で擁立され、両容疑者側には党本部からは1億5千万円が提供されていた。激戦の末、案里容疑者は当選し、その後の内閣改造で克行容疑者が法相として初入閣した。

約2570万円もの「買収資金」をどう調達したのか。検察当局は両容疑者の資金の流れについても捜査を進める。

拘置所や宿舍前 雰囲気、物々しく

中国新聞 2020/6/19



赤坂の衆院議員宿舍前に集まった報道陣

（18日午前7時51分）

河井克行、妻の案里両容疑者が移送された東京都葛飾区の東京拘置所前は18日、報道陣や周辺住民計約100人が詰めかけ、物々しい雰囲気にも包まれた。午後5時前後、両容疑者を乗せた銀色のミニバンが相次いで入所すると、カメラのフラッシュが一斉にたかれた。車両の運転席の後ろはカーテンで覆われ、夫妻の表

情は確認できなかった。

午後7時すぎには、克行容疑者の弁護士が接見を終え、報道陣の取材に応じた。「不正な行為はしていませんというのが本人の主張」と容疑を否認。案里容疑者については「私たちは関係ない」と述べた。

都内にある夫妻の議員宿舎や議員会館の事務所では午後4時ころから、検察当局の家宅捜索が始まった。夫妻の実質的な生活拠点だった赤坂の衆院議員宿舎には検察関係者や捜査車両が入った。両容疑者の事務所にはいずれもワイシャツ姿の約10人が訪れ、黒いバッグなどを持って出た。いずれも約3時間で終わった。

赤坂の議員宿舎前にはこの日午前、100人近くの報道陣が並んだ。出入りする議員たちは一様に驚いた表情を見せ、スマートフォンで報道陣を撮影したり、指で人数を数えたりしていた。(山本和明、中橋一誠、境信重、河野揚)

県市議・首長・後援会… 「買収先」進退検討も

中国新聞 2020/6/19



前町長辞職による町長選を知らせる懸

垂幕が掲げられた広島県安芸太田町役場（2020年5月）

昨夏の参院選広島選挙区を巡る公選法違反事件で逮捕された河井克行容疑者と妻の案里容疑者の買収相手は94人とされる。検察当局は人数しか明らかにしていないが、中国新聞の取材では広島県内の県議や市議、首長、後援会幹部が現金を渡されたと認めている。一方的に現金入りの封筒を渡された人も含めて捜査対象となっており、検察の動向に神経をとがらせる。

「こっちは政治家としてのけじめを考えんといけない」。広島市議は表情を曇らせる。市議選で当選した後の昨年4月中旬、事務所を訪れた克行容疑者から「当選祝い」として30万円を受け取った。参院選の公示が2カ月半後に迫っていた。広島地検の任意聴取では、克行容疑者には参院選に出る案里容疑者への支援を求める趣旨があったとの認識を認めた。「もう言い訳はできない。周囲に相談した上で進退は考えたい」

別の市議は覚悟を決めている。市議選中の昨年3月末、事務所を訪ねてきた克行容疑者が「陣中見舞い」の名目で封筒を置いて帰った。30万円が入っていた。

30万円は寄付金として昨年分の政治資金収支報告書に計上し、県選管に提出した。11月末までに公開される予定だ。「それまでに支援者には隠さず事情を説明したい」と話す。

夫妻による「バラマキ」は全県に及ぶ。克行容疑者の選挙区である衆院広島3区外の県議は「ほぼ面識もないのに、いきなり事務所に来た。その場で現金を突き返せなかった」と後悔する。別の県議も「心にずっともやもやがあった。検事には事実を話した。正直に話した議員だけを罪に問うようなことはしてほしくない」と思いを語った。

公選法では、買収目的で現金を受け取った側も同法違反（被買収）に問われる。検察は現時点で被買収者の処分を決めていない

が、「容疑者」でもある県議や市議らは自身の処遇への不安を口にしている。

検察の処分を待たずに、「けじめ」をつけた政治家もいる。安芸太田町の小坂真治前町長は4月、町議会で「いわれのないお金を不本意ながらも受け取った」と非を認め、辞職した。

昨年4月下旬、自宅に来た克行容疑者から封筒を渡された。そのまま保管していたが、買収疑惑が報道されていた今年3月下旬に封筒を開けると20万円が入っていたという。夫妻逮捕の一報を受け、小坂前町長は「私も取り調べを受けている立場なので…」と言葉少なだった。

現金は、夫妻を支える後援会にも配られた。広島市安佐南区の後援会幹部は昨年6月、自宅に来た克行容疑者から5万円入りの封筒を差し出された。「こんなことのために応援しとるわけじゃない」と拒否したが現金を置いて帰られ、やむなく受け取るはめに。「ほんと迷惑な話だ」と憤る。

参院選前、夫妻に1億5千万円を提供した自民党本部にも批判の矛先は向く。克行容疑者から30万円を受け取った安佐北区の後援会幹部は「ようけ懐に入ったけえ、悪い気持ちを起こしたんじゃないろう。党本部が1億5千万円も出すからじゃ」と訴え、吐き捨てた。「もう後援会は解散よ」

広島県議会が調査検討

中国新聞 2020/6/18

広島県議会の中本隆志議長は18日、逮捕された河井克行容疑者と妻の案里容疑者から現金の提供を受けたかどうかについて、県議への事実確認を検討する考えを示した。具体的な調査手法には言及しなかった。

県議会棟で記者会見した中本議長は「参院選があると分かっていて現金を受け取ったのなら、誠に遺憾。事実なら法律に違反しており、問題視しなければならぬ」と指摘。県議会による事実関係の調査を「視野に入れなければならない時期に来ている」と述べた。

中国新聞の取材では、これまでにいずれも自民党の県議7人が夫妻から現金を持参されたと証言。広島地検が県議会棟にある複数の県議の控室を家宅捜索するなど、異例の事態になっている。

(樋口浩二)

広島県内、憤る有権者 「納得いく説明ないまま」「安倍政権の責任は重い」

中国新聞 2020/6/18



河井夫妻の逮捕を伝える電光ニュース（18

日午後4時30分、広島市中区）

昨年7月の参院選広島選挙区を巡り、地方議員や首長らに現金を配ったとして、前法相の河井克行容疑者（57）＝衆院広島3区＝と妻の参院議員案里容疑者（46）が18日、公選法違反（買

収)の疑いで逮捕された。広島県内の有権者からは「本人から納得のいく説明がないままだ」「安倍政権の責任は重い」などと憤りの声が上がった。夫妻が所属していた自民党の本部から参院選公示前に提供された1億5千万円の使途など、金の流れの実態解明を求める声も相次いだ。

広島市中区の八丁堀交差点。大型ビジョンには夫妻の逮捕を伝える電光ニュースが繰り返し流れ、多くの人が足を止めた。安佐南区の会社員小島宏信さん(54)は「逮捕は当然。地元で支えた人が納得いくよう、本人らが自ら説明する責任がある」と強調した。

安佐南区の夫妻の自宅前を散歩していた近くの70代男性は「夫妻と前に話したことがあるから、というだけで金をもらっていると疑われる知り合いもいる。嫌な気持ちだ」と表情を曇らせた。

繰り返される「政治とカネ」の問題。広島県府中町のタクシー運転手富田正次さん(65)は「クリーンな政治はやはり無理なのか。検察には、有権者が納得できるように厳しく追及してほしい」と望んだ。

呉市の派遣社員石丸徹さん(66)も「金を受け取る方も問題。金で動く選挙の文化が残っているということだ」と批判。法相経験者の逮捕という前代未聞の事態に「適材適所とは思えない関係が多い」と安倍晋三首相の任命責任を問うた。

関係者によると、案里容疑者の陣営が車上運動員に法定上限を超える報酬を払ったとされる公選法違反事件の捜査で、自民党本部が提供した1億5千万円の一部は違法報酬の原資になっていたことが判明したという。福山市のアルバイト北升美津江さん(55)は「自民党は信頼できない。政権交代すべきだ」と突き放した。

克行容疑者の地盤である広島3区内の住民にも衝撃が走った。安芸太田町の米本勲さん(77)は「現金を配って当選したとしたら、案里容疑者は心に引っかかるものがなかったのだろうか」と声を落とした。

「夫妻を応援していたので残念だし、裏切られた気持ち」と安芸高田市のアルバイト増田正省さん(72)。「本人の口から何の説明もなく、有権者をばかにしている。今後の捜査で真実を明らかにしてほしい」と訴えた。

河井夫妻逮捕、備後の支持者らにも衝撃 「金銭やりとり分かれば応援せず」

中国新聞 2020/6/18



JR福山駅前では支持者たちと言葉を交わす案里容疑者(2019年7月16日)

昨年7月の参院選広島選挙区を巡り、前法相の河井克行(57)、同選挙区で初当選した妻案里(46)の両容疑者が公選法違反(買収)容疑で逮捕された18日、備後地方にも衝撃が広がった。選

挙戦では、政権や党の幹部も応援に入っていた。当時の陣営関係者や支持者は「残念だが、逮捕は当然」などと受け止める。政権との関わりを含め、真相解明を求める声も上がった。

自民党は改選2議席独占を狙い、元三原市長で6選を目指す現職の溝手顕正氏と案里容疑者を擁立した。福山市や周辺は、溝手氏の選対本部長を務めた宮沢洋一氏(参院広島)の地盤。案里容疑者を支えたのは、元広島県議らを軸とする急ごしらえの組織だった。

陣営は福山市内に事務所を構え、案里容疑者は元県議や企業関係者の支援を受けながら企業へのあいさつ回りや大規模集会を重ねた。会社経営者の男性は「溝手さんをずっと応援してきたが、取引先から要請があり、仕方なく訪問を受けた。逮捕されるような政治家を若い社員に紹介し、恥づかしく申し訳ない」とこぼした。

公示後は二階俊博党幹事長たちが応援入りし、JR福山駅前の街頭演説には菅義偉官房長官も駆け付けた。その場にいた克行容疑者の元秘書の男性は「夫婦で国政で活躍してほしい」とする一方、「これだけ世間を騒がせた以上、逮捕は当然。検察に全てを明らかにしてほしい」と期待した。

福山市などでは溝手氏の票を上回り、初当選した案里容疑者。票の上積みには、安倍晋三首相の秘書団が積極的に応援に入ったのも大きかったとされる。公設秘書を公示前に自身の支援企業に案内した尾道市の杉原孝一郎市議は「政権中枢が支えた候補。地域の課題解決の窓口になってほしいとの一念だった」と残念がった。

府中市の山口康治市議は、案里容疑者の選挙カーに乗って遊説に同行した。「事前に金銭のやりとりが分かっていたら応援はしていなかった」とした上で、両容疑者側に党本部から流れた1億5千万円に着目。「党総裁の安倍首相の指示だったのではないのか。金がある人が選挙で有利になるのだとしたらフェアではない」と不信感を抱く。

案里容疑者と県議時代の同期で、参院選では街頭演説でマイクを握った三原市の天満祥典市長は「報道の内容が事実なら政治不信を生む。地方の声を国政に届けていただけると期待していただけに非常に残念だ」とのコメントを出した。

河井前法相夫妻逮捕、問われる首相の責任 発端は1億5000万円提供

中国新聞 2020/6/19

前法相で衆院議員の河井克行容疑者(広島3区)と妻で参院議員の案里容疑者(参院広島)が公選法違反(買収)容疑で18日逮捕され、国会閉会を受けて仕切り直しを目指す安倍政権は大きな打撃を受けた。安倍晋三首相に近い元法務行政トップの選挙違反であり、夫妻へ自民党本部から提供された1億5千万円の資金との関係が問われている。「安倍1強」の陰りは鮮明となり、7年半に及ぶ長期政権のきしみを指摘する声も与野党から出ている。

逮捕の一報から約3時間後の18日午後6時。首相官邸で記者会見した安倍首相の表情は険しい。「かつて法相に任命した者として責任を痛感している」と陳謝した。だが、責任をどう取るかには触れなかった。



首相はこれまでも克行容疑者を首相補佐官や党総裁外交特別補佐で遇した。その妻の案里容疑者を地元県連の頭越しに昨年7月の参院選広島選挙区（改選数2）に擁立。首相は秘書を送り込んで支援した。

菅義偉官房長官も再三、応援に入った。菅氏は逮捕前の18日午前の記者会見で「私は重点区を中心に応援に行った」と述べ格段の肩入れを否定したが、克行容疑者は菅氏を慕う議員グループの世話人であり、額面通りには受け取れない。

自民分裂の熾烈な選挙戦の末、案里容疑者が初当選した一方、もう1人の自民党公認だった溝手顕正氏が落選。首相との溝が指摘されていた。昨年9月の内閣改組で克行容疑者が初入閣したのは「論功行賞」とみる同党議員は少なくない。

夫妻の党支部へ党本部から公示前に提供された1億5千万円は、溝手氏ら他の公認候補の10倍の金額だ。資金が買収に直接充てられたかどうかにかかわらず、金権選挙の発端を生み出した首相や党本部の責任は免れない。

だが首相は会見で「党本部では公認会計士が厳格な基準に照らして、事後的に各支部の支出をチェックしている。巷間言われているような人に使うことができないことは二階俊博幹事長から説明している」と述べるだけだった。党総裁としての説明責任を果たそうとしない姿勢を、首相と距離を置く石破茂元幹事長（鳥取1区）は「納税者や党員に説明できる金の使い方をしないと」と批判する。

野党は克行容疑者の任命責任や巨額の資金提供と事件の関係を追及する構えで、立憲民主党の枝野幸男代表は「首相の見識が問われる」と退陣を求めた。国民民主党の玉木雄一郎代表も、議員辞職を否定する夫妻の姿勢に「辞職しないのなら、速やかに議員辞職勧告決議案を提出したい」と表明した。

新型コロナウイルス対応や検察庁法改正を巡る迷走などで内閣支持率は下落。それに追い打ちを掛ける事件の影響は計り知れない。求心力の陰りは、岸田文雄政調会長（広島1区）が首相の「意中の人」とされるポスト安倍レースにも波及しそうだ。（下久保聖司）

【ドキュメント】河井前法相夫妻逮捕

中国新聞 2020/6/18



克行容疑者の事務所に駆け付けた報道陣（18日午後5時14分、広島市安佐南区、撮影・山崎 亮）

河井克行、案里両容疑者が逮捕された18日の動きは次の通り。

8時00分 広島市内の両容疑者の事務所、東京の議員宿舎などに多数の報道陣が詰め掛ける

11・15 菅義偉官房長官が記者会見。両容疑者の説明責任に関し「政治家たる者、自らの行動について自ら説明するのが基本」

11・30 事件に絡んで家宅捜索を受けた広島県議会元議長の松山俊宏氏が議会棟で報道陣の取材に応じる。現金の受け取りをあらためて否定。現金の配布先を両容疑者に指南したかどうかについては「全くそういう立場にない」

14・47 両容疑者の逮捕を伝えるテレビのニュース速報が流れる

15・05 検察当局の聴取を受けたことを認めた広島市議の1人が「（両容疑者逮捕について）見守るしかない」と述べ、市議会棟の会派控室に入る

15・45 東京、広島両地検が記者発表し、逮捕容疑について説明

16・00 検察当局が東京の参院議員会館にある案里容疑者の事務所の家宅捜索開始

16・33 検察当局が東京の衆院議員会館にある克行容疑者の事務所の家宅捜索開始

16・51 克行容疑者を乗せたとみられる車両が東京拘置所に入る

17・10 広島県の湯崎英彦知事が記者会見。「現金を受け取った議員の説明が必要。できるだけ明らかにしてほしい」

17・15 案里容疑者を乗せたとみられる車両が東京拘置所に入る

18・00 安倍晋三首相が記者会見。「法相に任命した者として責任を痛感している」と陳謝▽克行容疑者から現金20万円を受け取っていた広島県安芸太田町の小坂真治前町長は取材に「疑惑の全容解明へ、一段階進んだと思った」

18・58 案里容疑者の事務所の家宅捜索終了

19・16 克行容疑者と面会した弁護士が東京拘置所の外へ。「不正な行為はしていません、というのが本人の主張」

19・41 克行容疑者の事務所の家宅捜索終了

逮捕前の案里容疑者、鈴木宗男氏に相談 克行容疑者、口閉ざす
中国新聞 2020/6/18



■参議院本会議後、話し込む河井案里容疑者

(手前右)と鈴木氏(同左) = 12日(撮影・浜岡学)

検察当局の捜査が迫る中、前法相で衆院議員の河井克行容疑者は逮捕前の17日まで報道陣に口を固く閉ざし続け、参院議員の案里容疑者は不安な表情を見せていた。

案里容疑者は、日本維新の会の鈴木宗男氏と複数回、参院本会議後に話をする姿が見られた。「話をしたよ。検察がどう捜査を進めるのかとか」と語る鈴木氏は2002年、北海道開発局の工事を巡るあっせん収賄事件などで東京地検特捜部に逮捕、起訴された。

案里容疑者は逮捕許諾請求についても聞いてきたという。国会議員には国会会期中の不逮捕特権があるが、当時衆院議員だった鈴木氏は本会議で請求が可決された。他にどんな話をしたのかについては「具体は言えない。大変だろうけど頑張れよと言ってやった」と述べた。

検察当局が夫妻を通常国会閉会後に立件する方針であることを各メディアが報道した先週、院内のエレベーターで案里容疑者と乗り合わせた自民党の参院議員によると、乗り込んできた案里容疑者は「来週なんてひどい」と叫んだという。

克行容疑者は報道陣の問い掛けにほとんど応じず、関係者から漏れ伝わる言葉もわずか。国会会期末の17日には「地元で迷惑を掛けた」と謝罪する一方、買収容疑は「法にもとるような政治活動を行ってきたことはない」と否定した。(河野揚)

「金権選挙」に厳しい声 中国地方選出の与野党から批判

中国新聞 2020/6/18

前法相の河井克行容疑者(広島3区)と、昨年7月の参院選広島選挙区(改選数2)で初当選した案里容疑者の逮捕は、同じ中国地方を地盤とする国会議員に衝撃を広げた。与党は国民の信頼を損なう厳しい事態と受け止め、野党は自民党本部が夫妻の党支部に提供した1億5千万円の流れを追及する姿勢を強めた。

▽「民主主義の否定」「公正踏みにじる」

「離党したとはいえ、これまで自民党に所属し、なおかつ広島から選出された国会議員。逮捕は誠に残念だ」。自民党の岸田文雄政調会長(広島1区)は18日夕、党本部で報道陣の取材に「政治、自民党の信頼回復のために努力しなければいけない」と答えた。

検察当局は、河井夫妻が94人に計約2570万円を配ったとみている。自民党の石破茂元幹事長(鳥取1区)は「事実なら、わが党の候補者が票を金で買うという民主主義の否定に等しい

行為だ」と述べた。さらに克行容疑者を法相にした首相の任命責任について「国民にとって最もよい人事だったのか、検証しなければならない」と訴えた。

自民党と連立を組む公明党の斉藤鉄夫幹事長(比例中国)は緊急の記者会見を開き、「容疑が真実なら議員辞職に値する」と述べた。一方で、案里容疑者が初当選した昨夏の参院選で公明党が推薦を出したことに触れ、「結果として広島の有権者の政治不信を招いた」と無念さをにじませた。

昨夏の参院選広島選挙区でトップ当選した国民民主党の森本真治氏は「公正な審判が踏みにじられたことに、強い怒りを感じる」。同党の柳田稔氏(参院広島)は「逮捕で夫妻は当面、議員活動ができない。即刻辞職すべきだ」と強調した。

野党系無所属の柚木道義氏(比例中国)は、自民党本部が参院選公示前、河井夫妻に提供した1億5千万円を問題視。「選挙買収の原資になっている疑念がある。国会での説明責任も重大」と、閉会中審査での真相究明を求めた。(桑原正敏、河野揚)

「河井夫妻 辞職を」 中国5県党組織、政治不信の高まり懸念 中国新聞 2020/6/18

昨年7月の参院選広島選挙区を巡り、前法相の河井克行容疑者と妻の案里容疑者が公選法違反(買収)の疑いで逮捕された18日、中国地方5県の政党の県組織幹部は与野党の枠を超えて夫妻を厳しく批判した。与党からは政治家としての姿勢を非難する意見が噴出し、野党からは自民党や党幹部の責任を追及する声が続出した。政治不信の高まりへの危機感は共通している。

夫妻が17日まで所属した自民党。党広島県連の宇田伸幹事長は「夫妻は説明責任を果たさず、地元にも帰らなかった。広島の代表にふさわしいとは思えない」と語った。党県連として信頼回復に努めるとともに、後継を決める協議を早急に始めると表明した。

党岡山県連の天野学幹事長は「夫妻の政治的な感覚が普通ではなかった」と突き放す。党山口県連の友田有幹事長は「離党し、本人たちの問題なのでどうこう言えない」、党鳥取県連の斉木正一幹事長は「今後も県民に寄り添った活動を進める」と言葉少なだった。

連立を組む公明党。党広島県本部の田川寿一代表は「広島の政治風土は汚れていると見られるのが情けない」と憤慨し、公判で真実を明らかにしてほしいと願った。党山口県本部の上岡康彦幹事長は「夫妻は早く自身で説明し、自民党も身の処し方を伝えるべきだった。われわれも襟を正したい」と受け止めた。

野党側は、離党しながら国会議員の椅子にとどまる夫妻をこき下ろした。立憲民主党広島県連の渡壁正徳代表は「夫婦そろってすぐに議員を辞職すべきだ」、党島根県連の角智子幹事長は「金で票を集めた政治家が国会で働くのは、国民を欺くことだ」と主張した。

共産党広島県委員会の村上昭二委員長は、参院選で自民党本部が両容疑者の党支部に提供した1億5千万円について「どう使われたかを解明する必要がある」と強調。共産党山口県委員会の佐藤文明委員長は「疑いが持たれた時点で辞職すべきだった」と憤った。

社民党広島県連合の檀上正光代表は「夫妻そろってというのは

前代未聞だ」と嘆いた。日本維新の会の広島県支部に当たる広島維新の会の空本誠喜幹事は「自民党の金権体質が露呈した」と見立てた。国民民主党広島県連の福知基弘幹事は「政治に対する信頼を、与野党を超えて取り戻していかなければならない」と気を引き締めた。

広島的首長・議長 週刊誌で見解「言語道断」「勝利を焦り現金配布か」

中国新聞 2020/6/18

河井克行、妻の案里両容疑者が逮捕された18日、広島県内の首長や議長は、何も説明しない夫妻の振る舞いを批判し、裁判による疑惑の解明を望んだ。県選出の国会議員が2人も逮捕される異例の事態となり、夫妻へ多額の資金を援助した自民党本部の説明責任を問う意見も出た。

湯崎英彦知事は「非常に深刻。大規模な買収事件で全国的にも衝撃の大きい事件になった」と受け止めた。案里容疑者が今週発売の週刊誌のインタビューに応じた点を批判し「県内の有権者に説明がないままで言語道断。県民をばかにしている」と語気を強めた。

福山市の枝広直幹市長は「夫妻は何も語らないまま今日を迎えた。検察は県民や有権者の思いを受け止め、真実を明らかにしてほしい」と願った。広島市の松井一実市長は「国会議員として自ら責任を持ち、国民にしっかり説明してほしい」と注文した。

大竹市の入山欣郎市長は案里容疑者が初当選した参院選前に、克行容疑者から現金入りとみられる封筒を自宅で示され、突き返したと証言している。逮捕容疑となった現金配布の動機について「急きょ擁立され、絶対勝たなければならないとの焦りがあったのだろう」と推し量った。

安芸太田町では、克行容疑者から現金20万円を受け取ったとして、当時の小坂真治町長が4月に辞職した。町議会の矢立孝彦議長は「有権者の政治不信を拭い去るため、自民党本部として資金の使い道や事実を調べるべきだ」と訴えた。

立民の枝野氏、首相の退陣要求 河井前法相の任命責任を追及

中国新聞 2020/6/18 18:16



立憲民主党・枝野代表

立憲民主党の枝野幸男代表は18日、前法相の河井克行容疑者と妻の参院議員案里容疑者の逮捕を受け、昨年9月の内閣改造で法相に起用した安倍晋三首相に責任があるとして退陣を求めた。国会内で記者団に「逮捕されるような行動を取っていた人を法相に任命した首相の見識が問われる。退陣表明でもしたらいい」と述べた。

国民民主党の玉木雄一郎代表は記者団に「夫婦そろって現職議員が逮捕されるのは憲政史上に残る汚点だ。辞職しないのなら、速やかに議員辞職勧告決議案を提出したい」と表明。立民の安住淳国対委員長も「長期政権のおごり、緩みだ。お金に対して汚くなっている」と批判した。